

平成 30 年(2018 年)度  
公共施設に関するアンケート調査  
報告書（速報）

平成 30 年(2018 年)7 月  
秦野市



## はじめに

公共施設再配置計画の推進に当たっては、公共施設を利用する市民だけではなく、あまり利用しない市民も含めて、広く公共施設のあり方に対する意向を把握する必要があります。

そのためには、無作為抽出によるアンケート調査が有効な手段となることから、公共施設白書の作成及び改訂に合わせて、平成 21 年(2009 年)度及び平成 24 年(2012 年)度以降の隔年で実施してきた「公共施設に関するアンケート調査」を実施しました。

前回調査では、公共施設の利用者負担の適正化を進める中で、「公共施設の使用料に対する意識」を把握するための質問を設けたことから、インターネットを利用した調査会社によるアンケート（以下「Web 調査」といいます。）に加えて、無作為抽出による郵送アンケートも合わせて実施しましたが、Web 調査の結果と郵送調査の結果との間に大きな差が見られなかったため、今回は Web 調査のみを実施しています。

また、高齢者のネット人口が増加していることを勘案し、高齢者の意見を確実に把握するため、前回調査までは「50 代以上」としていた最高年齢の区分を「50 代」と「60 代以上」に細分化して実施しました。

## 1 調査の概要

### (1) 調査方法

調査方法	インターネット上の会員用フォームへの入力による回収			
調査期間	平成 30 年(2018 年)6 月 14 日～25 日			
調査対象者	調査会社のモニター会員のうち、市内居住者で 20 歳以上の男女			
回答者数		男	女	計
	20 代	20	30	50
	30 代	26	42	68
	40 代	43	40	83
	50 代	41	25	66
	60 代以上	53	20	73
	計	183	157	340

## (2) 調査結果の概要

公共施設更新問題及び公共施設の再配置に関する認知度は前回調査より減少していますが、前々回調査よりは上昇していますので、一定の認知度は確保されていると考えられます。

今回の調査では、平成 33 年(2021 年)を始期とする「公共施設再配置計画第 2 期基本計画」策定のための参考資料とするために、4 つの質問を新設しました。

### ◆ 問 5 「公民連携によるサービスの充実」

これまでの本市の取り組みを紹介したうえで、今後も公民連携を進めた場合のメリットとデメリットを質問に明記しましたが、「公民連携の推進」に賛成とした回答割合は過半数を超える 56.2%となりました。

### ◆ 問 6 「使用料見直しについて」

昨年度実施した公共施設の使用料見直しを受けて、今後の方向性に関する意識を調査しました。見直しの効果の把握と検証を経て、今後も実態に応じた見直しを行うべきかどうかを質問したところ、「実態に応じた見直しを行うべき」とした考え方に賛成とした回答は過半数を超える 55.0%となりました。

### ◆ 問 8 「廃止又は縮小しても良いと考える施設の機能」

現在の公共施設再配置計画第 1 期基本計画では「義務教育、子育て支援、行政事務スペース」はその機能を最優先することとしていますが、これに次ぐ「優先的に維持していく機能」は第 2 期基本計画において順位付けを行う予定であり、市民ニーズを把握するために三択で質問したところ、廃止又は縮小しても良いとされた割合が最も高かった機能は「住宅に関する機能」となりました。

### ◆ 問 9 「今後必要となる新たな機能、拡充が必要な機能」

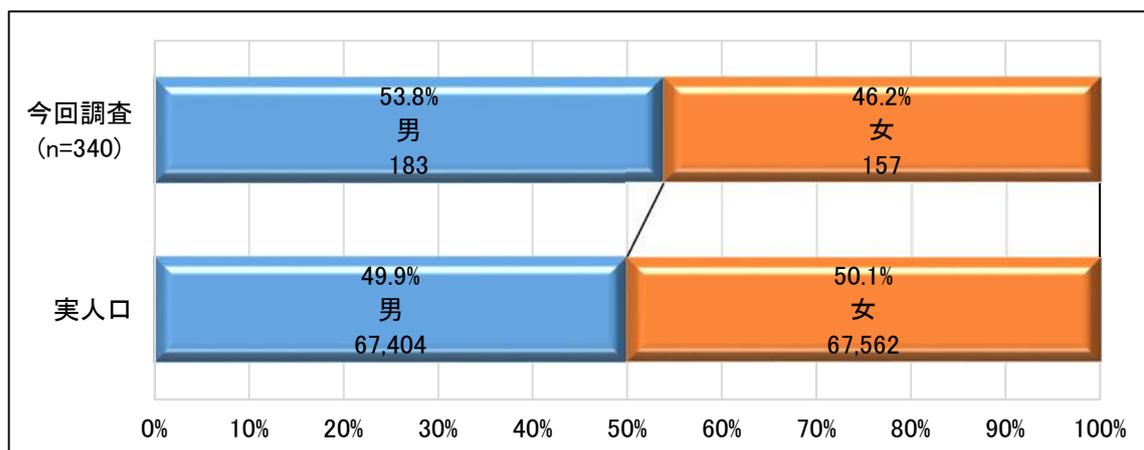
公共施設再配置計画における公共施設床面積の削減目標は「40 年間で 31.3%」ですが、少子高齢化が進行し、財政状況の好転が見込めない中であっても、「今後の秦野市に必要な」と考える「新たな機能」や「拡充が必要な機能」について質問しました。

他の質問と異なり、この質問は自由記載形式としたため、質問の意図に沿わない回答や未回答も数多くありましたが、機能別分類で 351 件の意見が寄せられ、そのうち最も割合が高かった機能は「高齢者に関する機能」、次に割合が高かった機能は「子育てに関する機能」で、このふたつの機能を合わせて全体の約 3 割を占める結果となりました。

## 2 回答者の属性等

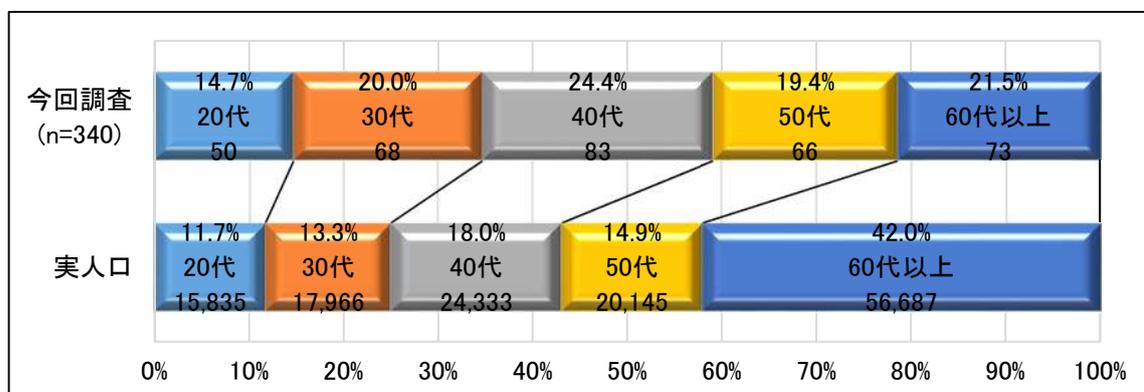
### (1) 性別

平成 30 年 (2018 年) 4 月末現在の住民基本台帳による 20 歳以上の人口 (以下、「実人口」といいます。) の割合と比較すると、今回調査では男性の割合が高くなっています。



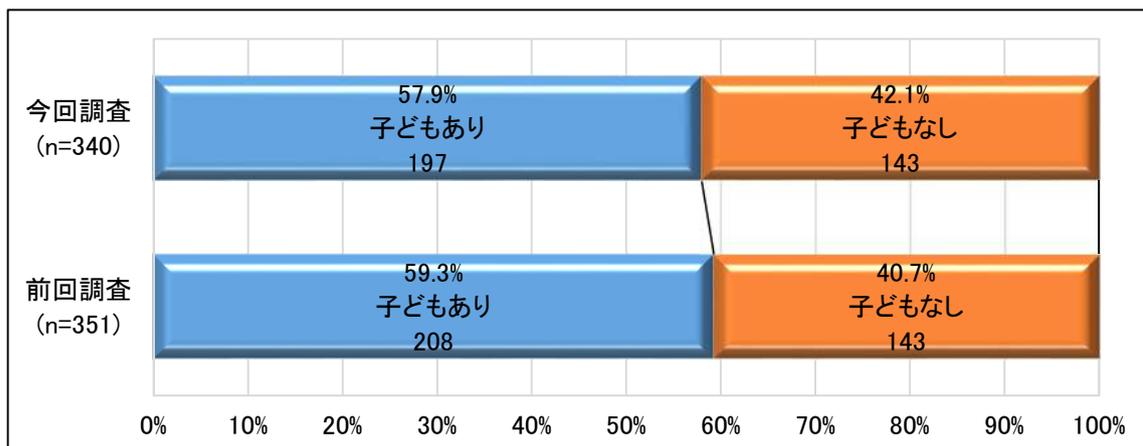
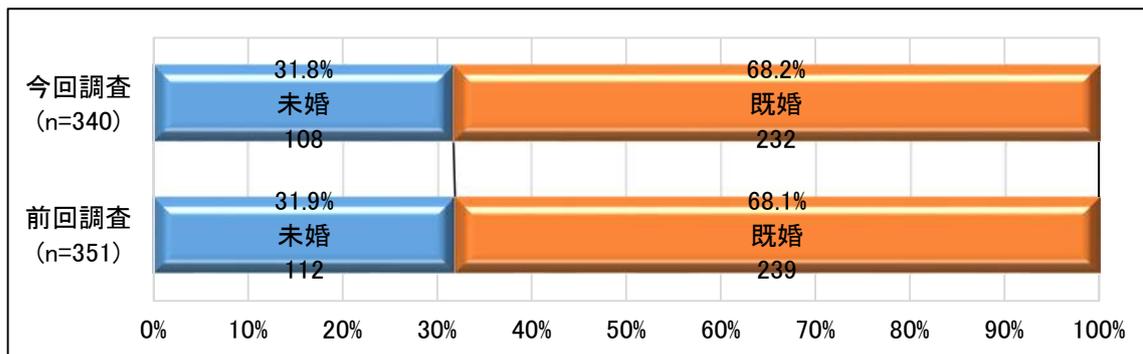
### (2) 年代

今回の調査で新設した「60 代以上」の割合が実人口より低く、そのほかの年齢区分の割合が高くなっています。



### (3) 未既婚及び子どもの有無

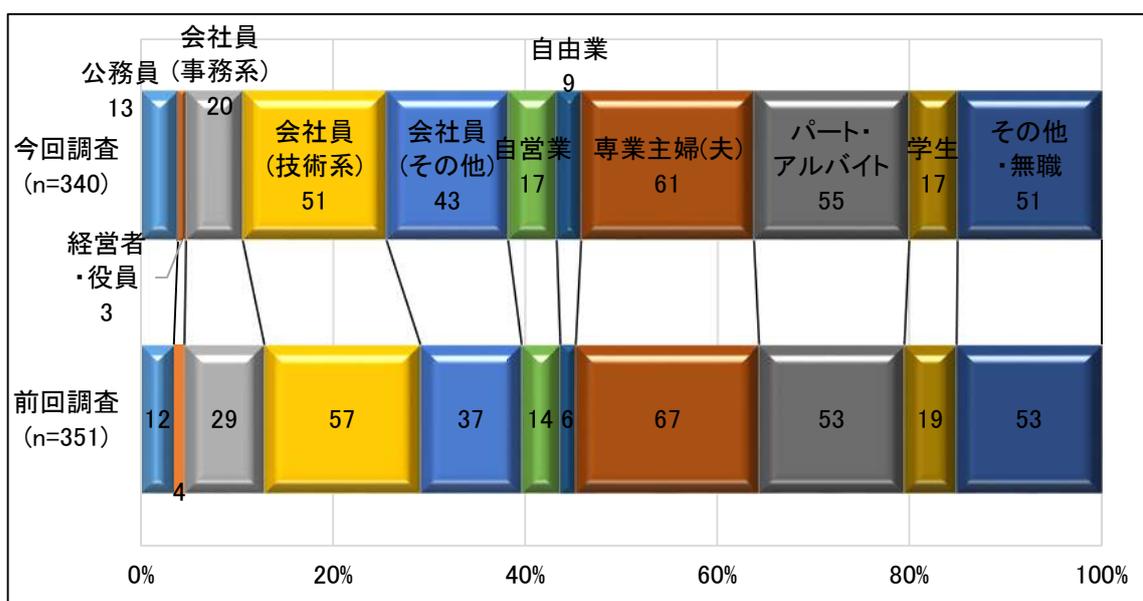
前回調査と比較すると、「未婚・既婚」の割合はほぼ同じですが、「子どもあり」の割合が低くなっています。なお、ここでいう「子ども」は、青少年だけを指すものではなく、成人している場合も含んでいます。



#### (4) 職業

前回調査と比較すると、会社員(その他)、自営業、自由業、パート・アルバイトの割合が高くなり、会社員(事務系)、会社員(技術系)、専業主婦(夫)、学生の割合が低くなっています。

ちなみに、平成27年(2015年)度国勢調査の結果では、本市の15歳以上の人口に占める就業者の割合は、49.7%となっています。

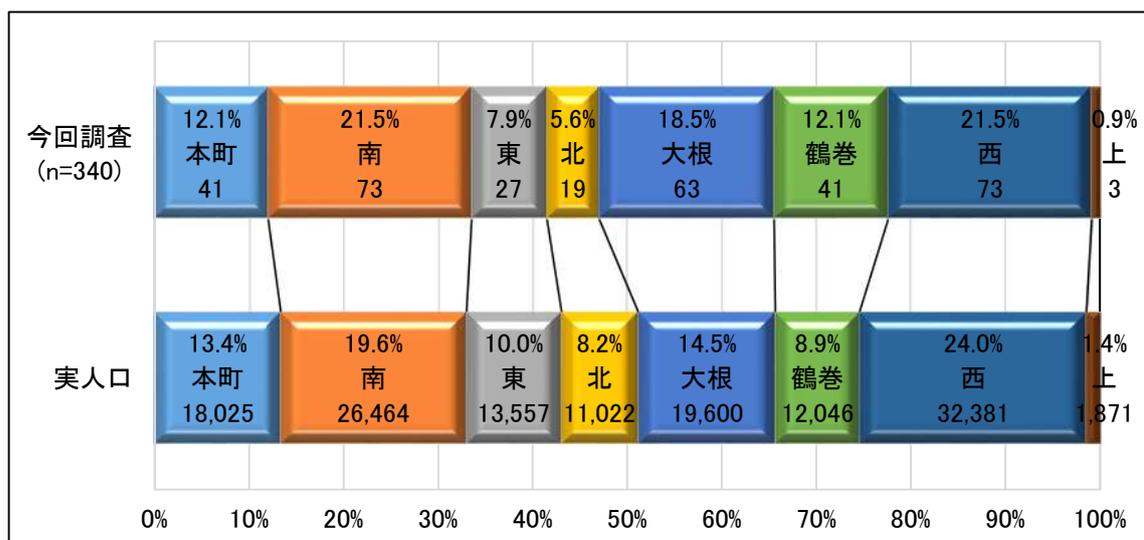


### 3 設問及び回答

問1 あなたが居住している地区を教えてください。

- ◆ 今回調査では、南、大根、鶴巻地区に居住する人の割合が、実人口の割合よりも高く、本町、東、北、西、上地区に居住する人の割合が低くなっています。

「北地区」と回答した人の割合に標本誤差<sup>1</sup>を超える差が表れましたが、誤差範囲の直近であり、調査結果の信頼度に対する影響は極めて小さいと考えられます



回答肢	実人口の割合	調査結果と誤差範囲 n= 340
① 本町	13.4%	(8.6%) ~ 12.1% ~ (15.6%)
② 南	19.6%	(17.0%) ~ 21.5% ~ (26.0%)
③ 東	10.0%	(5.0%) ~ 7.9% ~ (10.8%)
④ 北	8.2%	(3.1%) ~ 5.6% ~ (8.1%)
⑤ 大根	14.5%	(14.3%) ~ 18.5% ~ (22.7%)
⑥ 鶴巻	8.9%	(8.6%) ~ 12.1% ~ (15.6%)
⑦ 西	24.0%	(17.0%) ~ 21.5% ~ (26.0%)
⑧ 上	1.4%	(0.0%) ~ 0.9% ~ (1.9%)

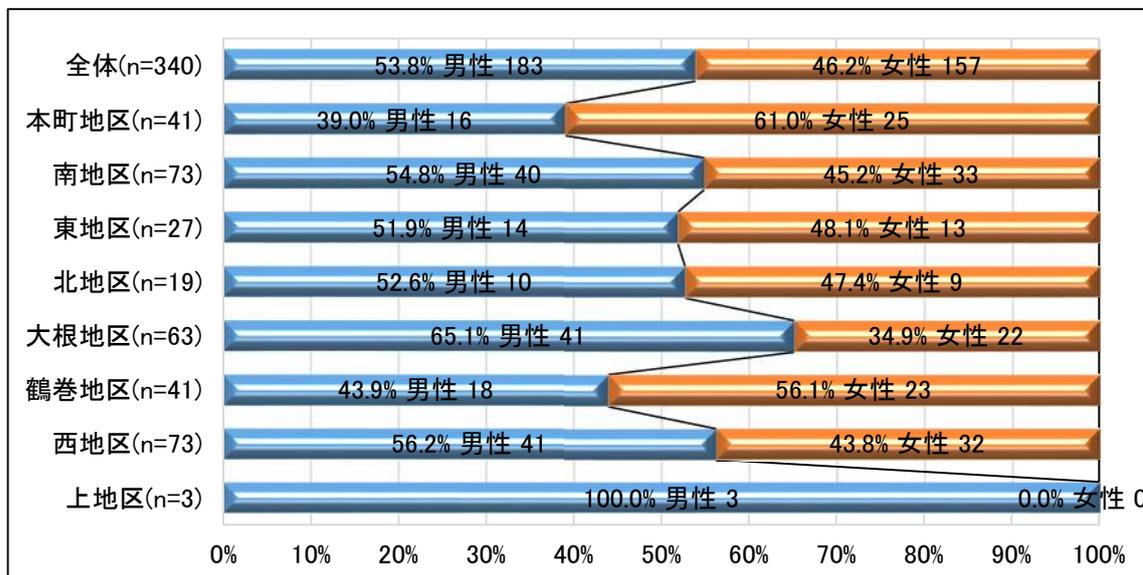
( )内は、信頼水準 95%<sup>2</sup>である標本誤差を加減した回答率

<sup>1</sup> 母集団から一部の標本を抽出する標本調査において、標本から得られた値と、母集団における値との間に生じる誤差で、確率論に基づき一定の式で計算する。

<sup>2</sup> 100 回同じ調査を行った場合、95 回が回答割合に標本誤差を加減した範囲の中に収まる結果になるという信頼度。回答率 50%で信頼水準 95%である標本誤差が 5%の場合、その回答は 100 回中 95 回で 45 ~ 55%の範囲に収まることになる。

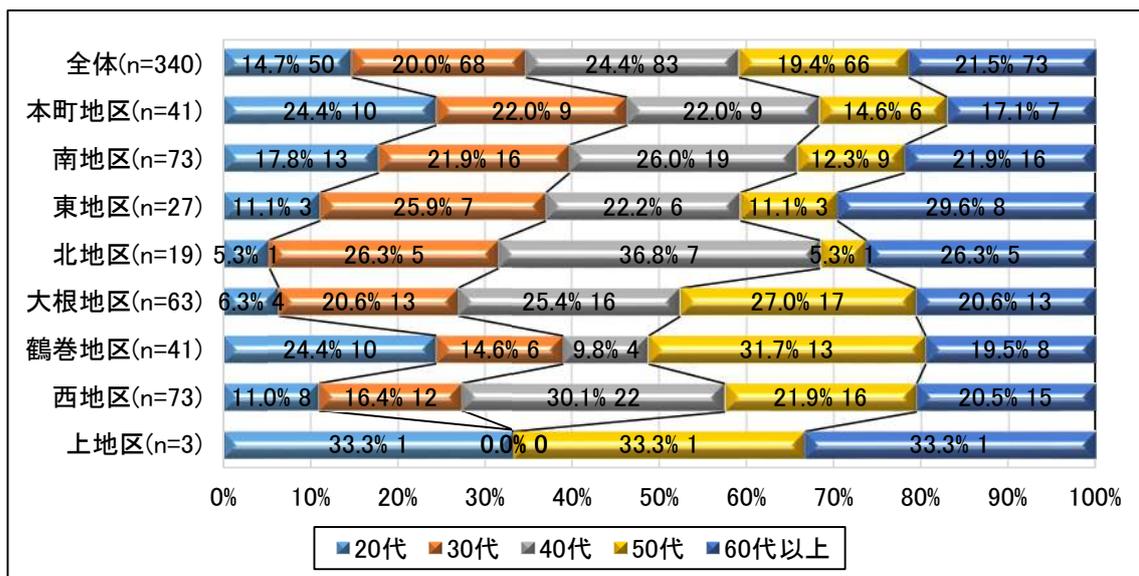
◆ 地区別の回答者の性別

サンプル数が少ない上地区を除き、男性の回答割合が高かった地区は、大根地区、西地区、女性の回答割合が高かった地区は、本町地区、鶴巻地区となっています。



◆ 地区別の回答者の年代

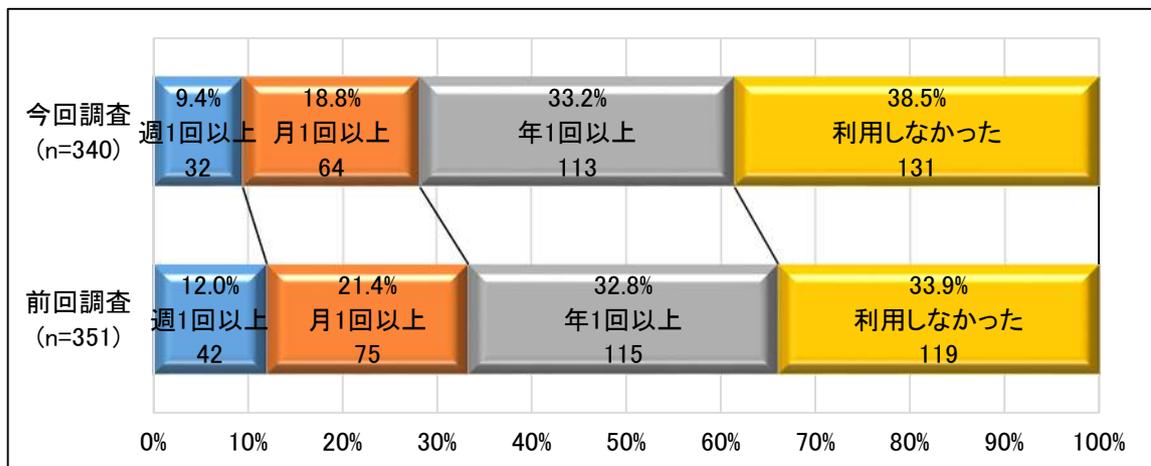
サンプル数が少ない上地区を除き、20代の回答者割合が高かった地区は、本町地区、鶴巻地区、30代の回答者の割合が高かった地区は、東地区、北地区、40代の回答割合が高かった地区は、北地区、西地区、50代の回答割合が高かった地区は、大根地区、鶴巻地区、60代以上の回答者の割合が高かった地区は、東地区、北地区となっています。



問2 あなたは、過去1年間に総合体育館、文化会館、図書館、公民館、児童館のように、不特定の市民が利用することができる秦野市立の公共施設を利用しましたか。(公園のように職員が常駐していない施設は除きます。)

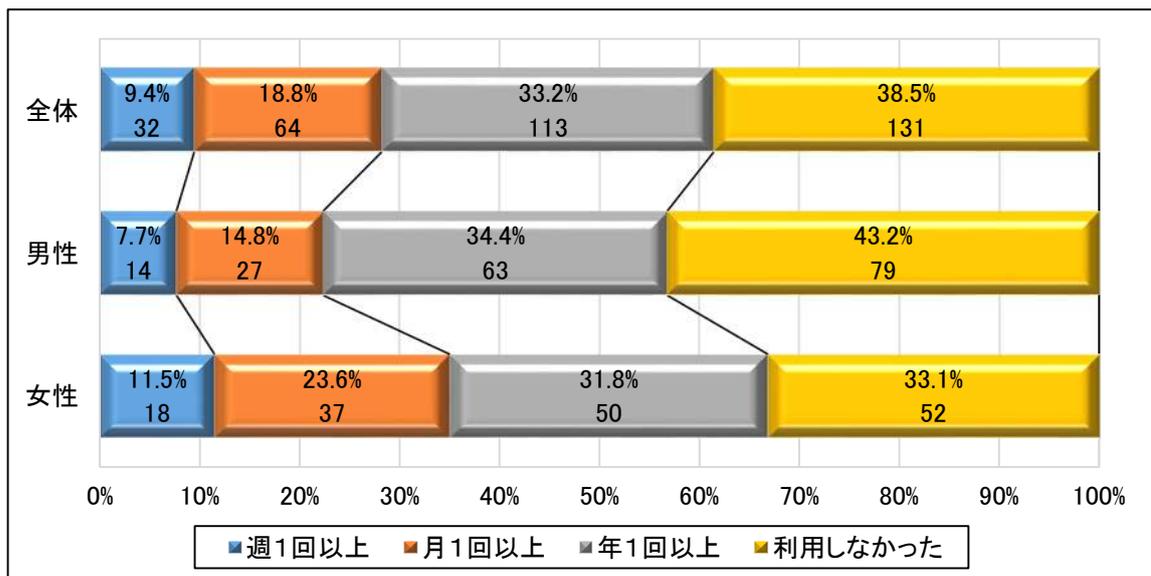
◆ 最も多かった回答は、「利用しなかった」と回答した人で、「週に1回以上利用した」と回答した人が最も少なくなりました。

「週に1回以上利用した」及び「月に1回以上利用した」と回答した人(以下「定期的利用者」といいます。)の割合は28.2%となり、33.4%だった前回調査よりも5.2%減少していますが、これまでの傾向と同じく概ね3分の1の市民が「定期的な利用者」であることが伺えます。



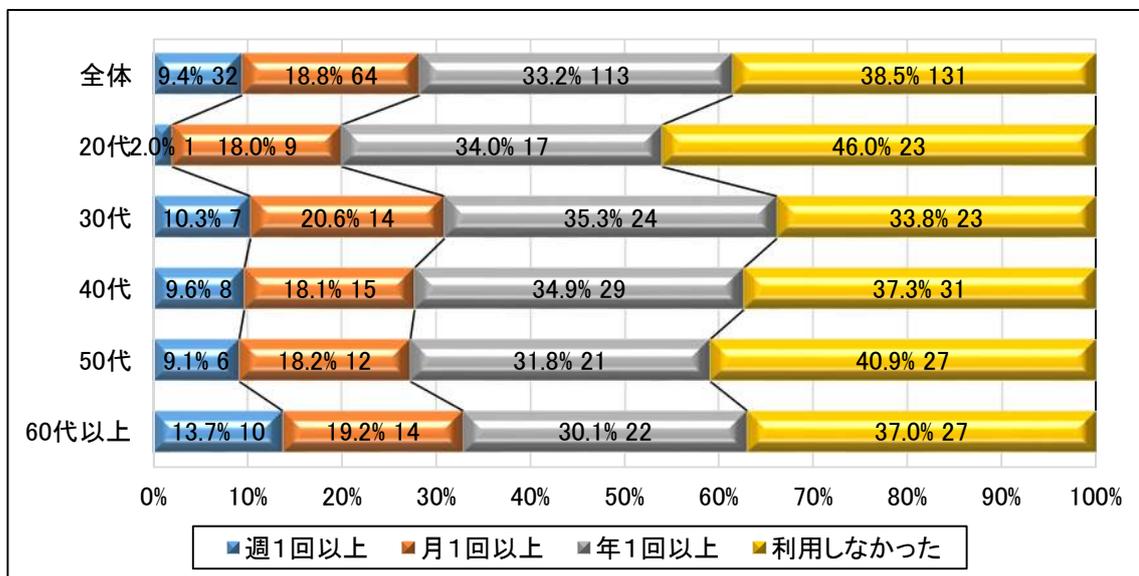
◆ 性別の比較

「週に1回以上利用した」及び「月に1回以上利用した」と回答した定期的利用者の割合が高かったのは女性となっています。



◆ 年代別の比較

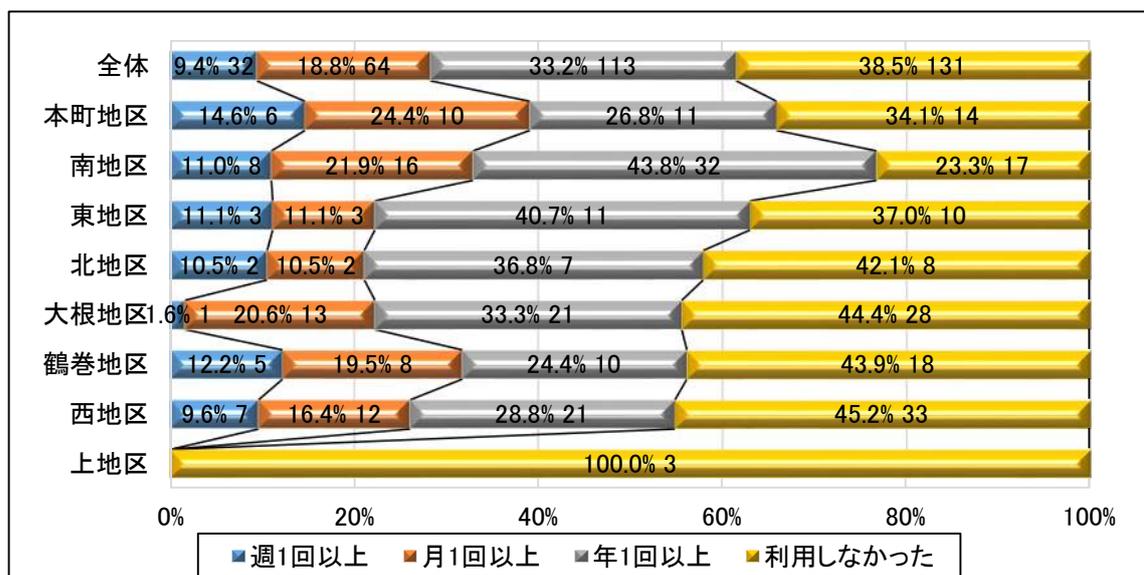
全体的な傾向と比較すると、「週1回以上利用した」と回答した人では60代以上の割合が高く、20代の割合が著しく低くなりました。また、20代は「利用しなかった」と回答した人の割合が最も高くなっています。



◆ 地区別の比較

サンプル数が少ない上地区を除き、定期的利用者の割合が高い地区は、本町地区、南地区、鶴巻地区となりました。また、「利用しなかった」と回答した人が多い地区は、北地区、大根地区、鶴巻地区、西地区となりました。

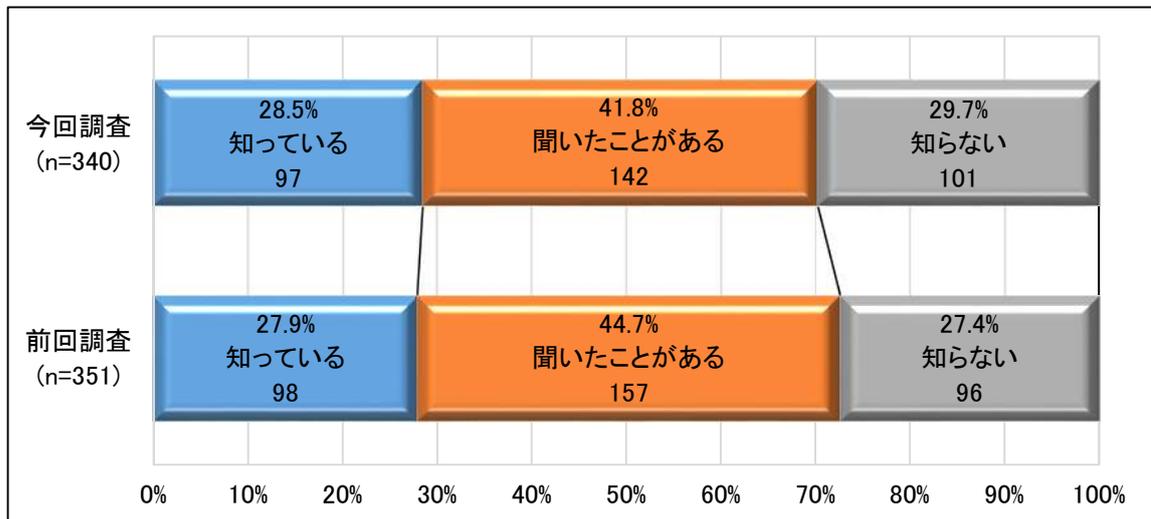
鶴巻地区については、全体に比べて定期的利用者と未利用者の割合がともに高い結果となり、利用実績が極端な傾向が伺えます。大根地区については、「週1回以上利用した」人の割合が著しく低く、これが定期的利用者の割合の低下を引き起こしていることが分かります。



問3 日本では、昭和40年代から50年代にかけて、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一斉に整備しました。現在これらの公共施設は、一斉に老朽化しつつあり、また、近い将来、一斉に作り直さなければいけない時期を迎えますが、住民の高齢化と人口減少が進む中で財政状況は悪化し、すべての公共施設を維持することが難しくなります。

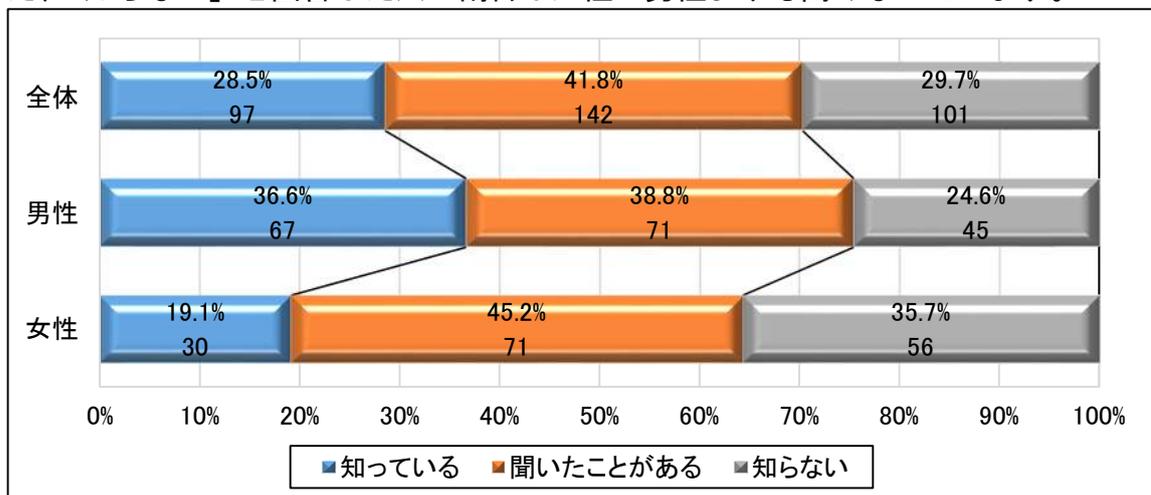
このことは、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」と言われていますが、あなたは、このことをご存知でしたか。

- ◆ 平成24年(2012年)のアンケート調査から継続している質問です。「知っている」又は「聞いたことがある」と回答した人の割合は70.3%で、前回調査よりも2.3%下落していますが、平成24年(2012年)度調査では65.3%、平成26年(2014年)度調査では66.1%でしたので、一定の認知度は確保されていることが伺えます。



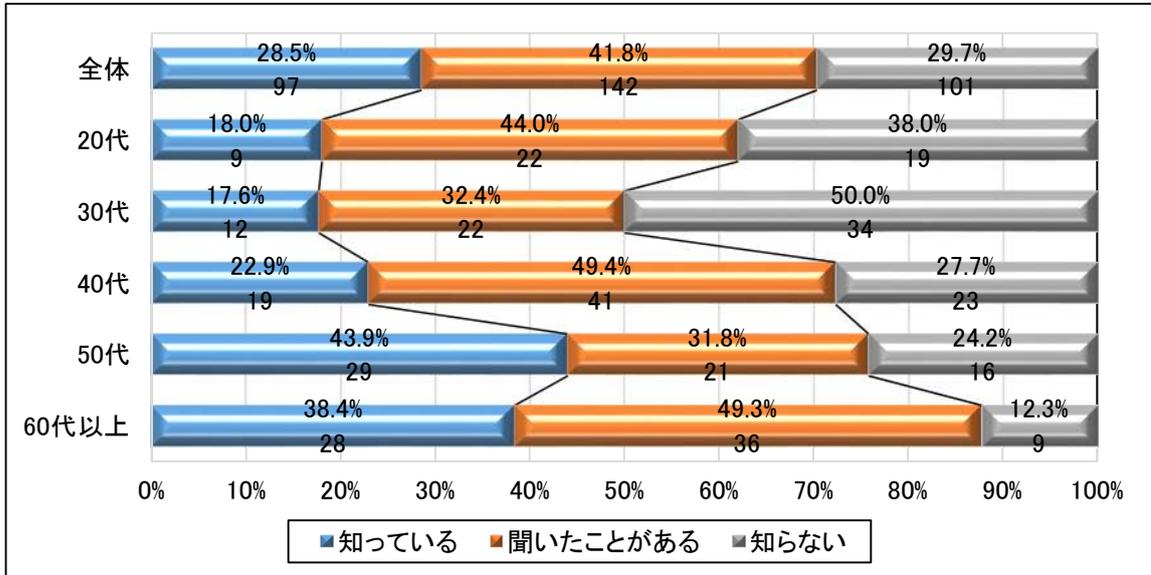
- ◆ 性別による比較

「知っている」と回答した人の割合は、男性が女性の約2倍となっています。また、「知らない」と回答した人の割合は女性が男性よりも高くなっています。



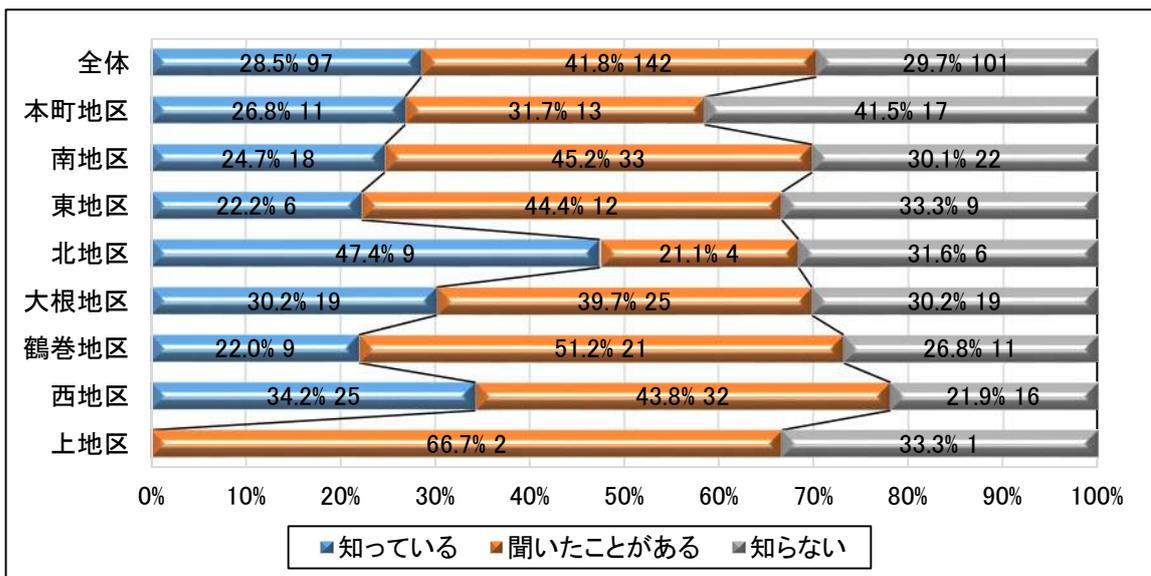
◆ 年代別の比較

「知っている」と回答した人の割合が高かったのは50代及び60代以上となっており、「聞いたことがある」と回答した人の割合は40代及び60代以上が高くなっています。また、「知らない」と回答した人の割合は若い世代で高く、30代では50%となっています。



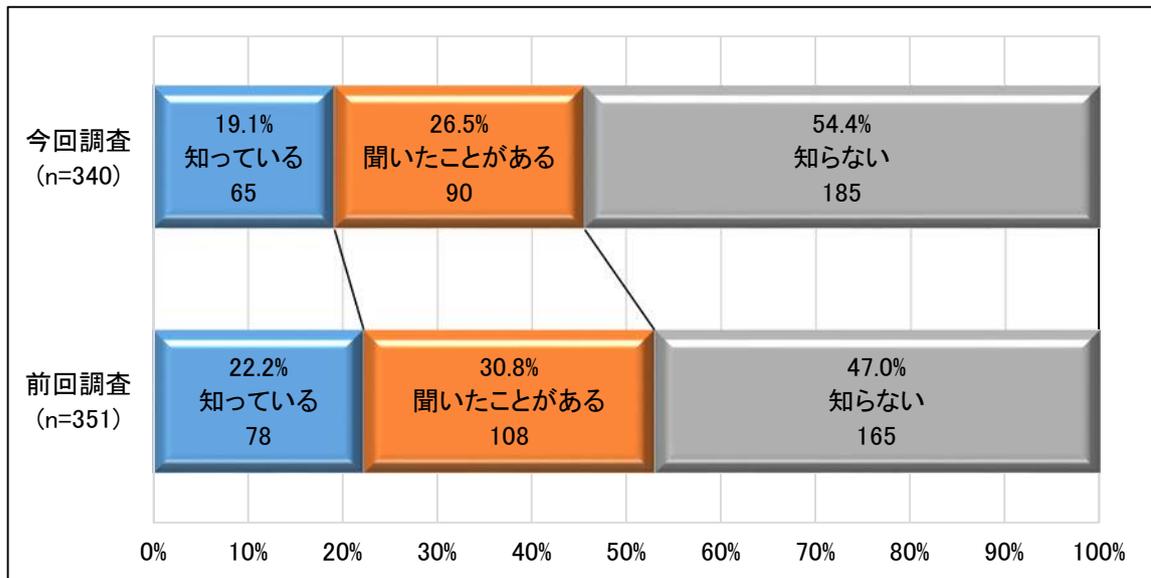
◆ 地区別の比較

サンプル数の少ない上地区を除き、「知っている」と回答した割合が最も多い地区は北地区で、「知っている」又は「聞いたことがある」と回答した人の割合が多い地区は西地区となっています。また、本町地区は他の地区に比べて「知らない」と回答した人の割合が多くなっています。



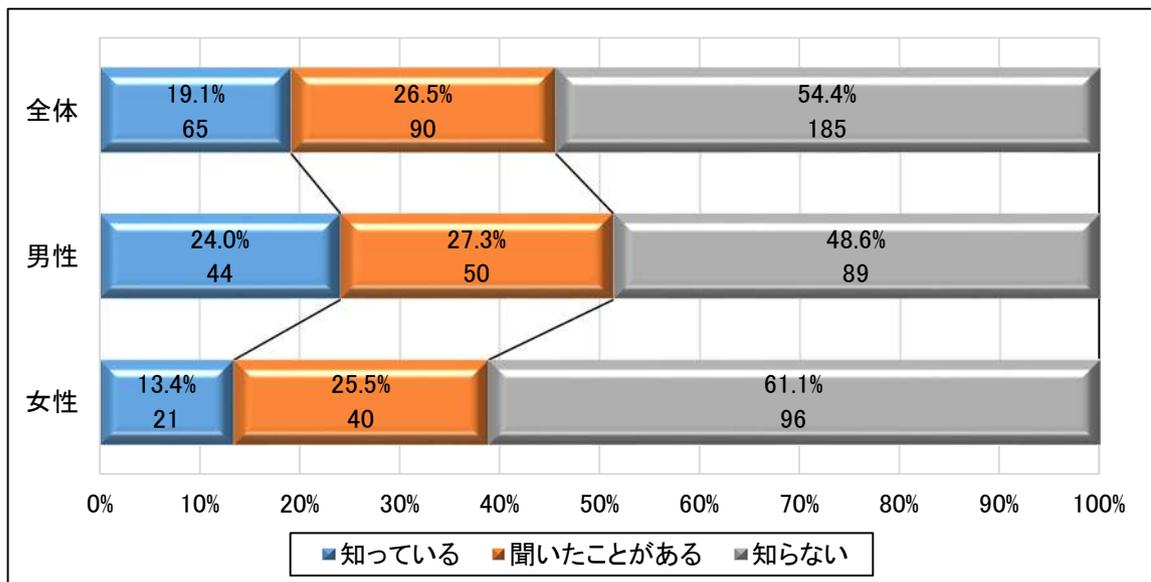
問4 現在秦野市は、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」に対応するため、「公共施設の再配置」を進めています。  
あなたは、このことをご存知でしたか。

◆ 問3と同じく、平成24年(2012年)のアンケート調査から継続している質問ですが、「知っている」又は「聞いたことがある」と回答した人の割合は45.6%で、前回調査よりも7.4%も下落しています。平成24年(2012年)度調査では33.1%、平成26年(2014年)度調査では41.6%でしたので、上昇傾向にあることが伺えますが、下落の原因は不明です。



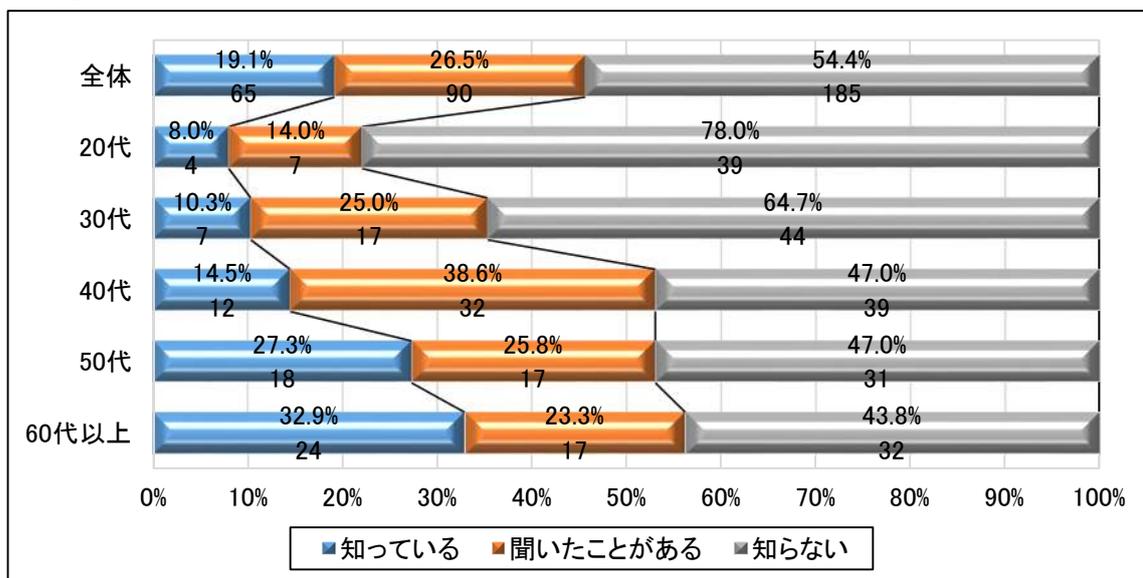
◆ 性別による比較

「知っている」と回答した人の割合は男性が女性よりも高くなっています。「聞いたことがある」と回答した人の割合は男女間で大きな差はありません。



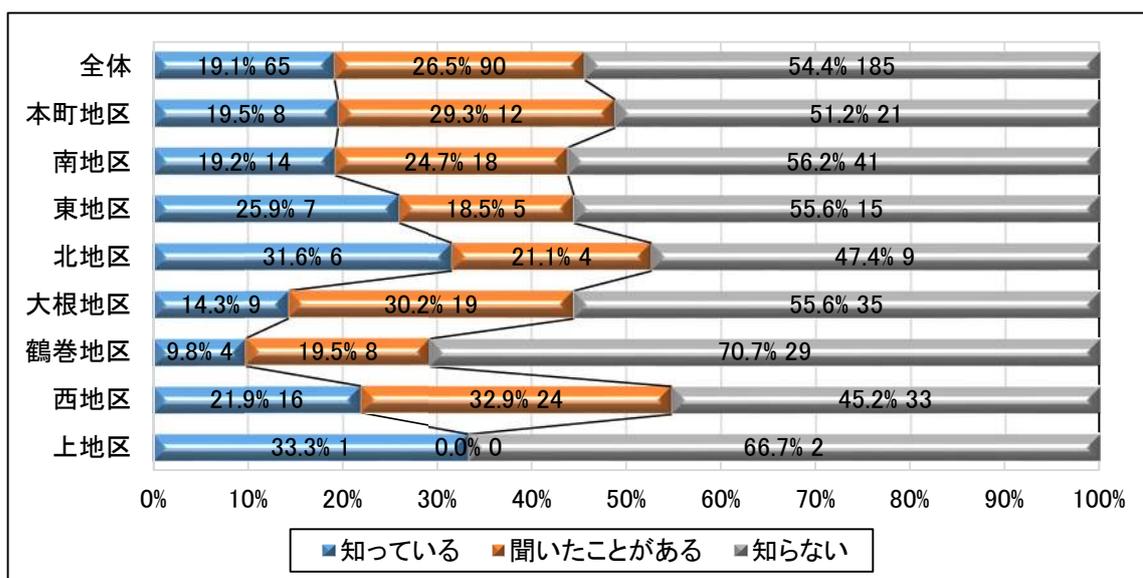
◆ 年代別の比較

「知っている」と回答した人の割合は、60代以上が最も高く、世代が下がるにつれて低くなっています。「知っている」又は「聞いたことがある」と回答した人の割合は、40代以上で50%を超えています、20代ではわずか22.0%となっています。



◆ 地区別の比較

サンプル数が少ない上地区を除き、「知っている」と回答した割合が高い地区は、東地区、北地区で、「知らない」と回答した割合が高い地区は鶴巻地区となっています。また、「知っている」又は「聞いたことがある」と回答した割合が高い地区は、本町地区、北地区、西地区となっています。



問5 秦野市では、「公民連携によるサービスの充実」を公共施設再配置計画のシンボル事業のひとつに位置付け、これまでに市役所敷地内へのコンビニエンスストアの誘致、保健福祉センター内への郵便局の設置、統合後の保育園跡地を賃貸した障害者福祉施設の民営化、老人いこいの家すずはり荘及び沼代児童館の自治会への譲渡など、公民連携の手法を取り入れた公有財産の活用に取り組んできました。

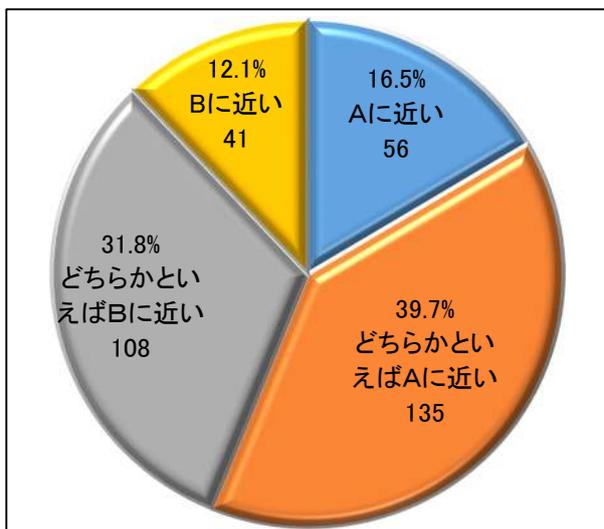
今後も「公共施設の再配置」を進めるためには、施設が持つ機能を少ない経費で最大限に発揮するとともに、より使いやすい施設とすることを目的として、公共施設の管理運営主体が民間企業や地域の自治会などに変更される可能性もあります。しかし、管理運営主体が民間企業や地域自治会に移行した場合、経営悪化や自治会員の減少などにより施設の運営が不安定になる可能性もあります。

次の2つの考えのうち、あなたの考えに近いもの一つを選んでください。

<p>A 多少のリスクがあったとしても、魅力的な施設運営を行えるのであれば公民連携をもっと進めるべきである。</p>	<p>B 公共施設は安定的な運営を第一に考えるべきであり、施設の運営はできるだけ市が行うべきである。</p>
--	--

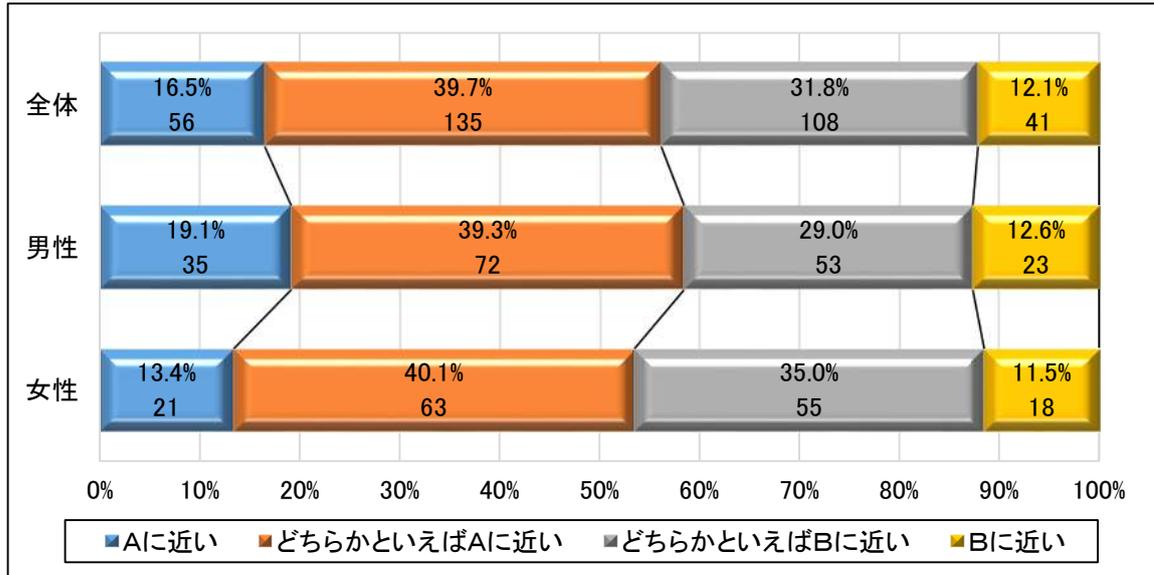
- ◆ これまで本市が進めてきた「公民連携」に関する市民の意識を把握し、平成33年(2021年)を始期とする「公共施設再配置計画第2期基本計画」策定の参考資料とするために新設した質問です。

公民連携の推進に賛成となる「Aに近い」と回答した人の割合は16.5%でしたが、「どちらかといえばBに近い」と回答した人の割合を合わせると56.2%となり、「施設運営は市で行うべき」と考える人の割合を上回る結果となりました。



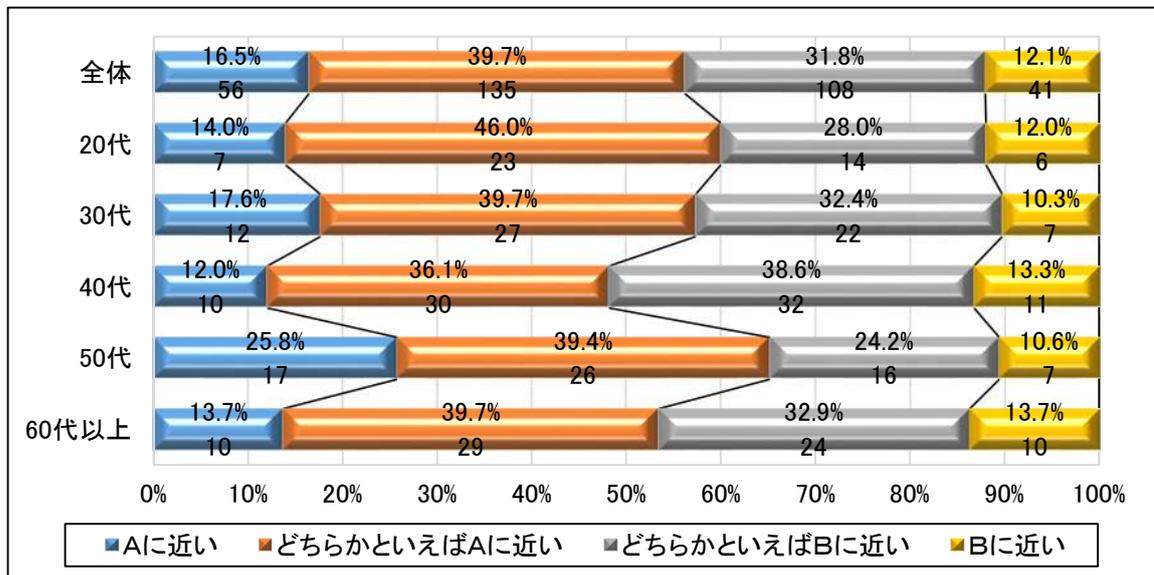
- ◆ 性別による比較

公民連携の推進に賛成となる「Aに近い」又は「どちらかといえばAに近い」と回答した人の割合は男性が女性を上回っています。これは男性が女性よりも「Aに近い」と回答した人の割合が高くなっているためです。しかし、「Bに近い」と回答した人の割合も男性が女性をわずかに上回っています。



◆ 年代別の比較

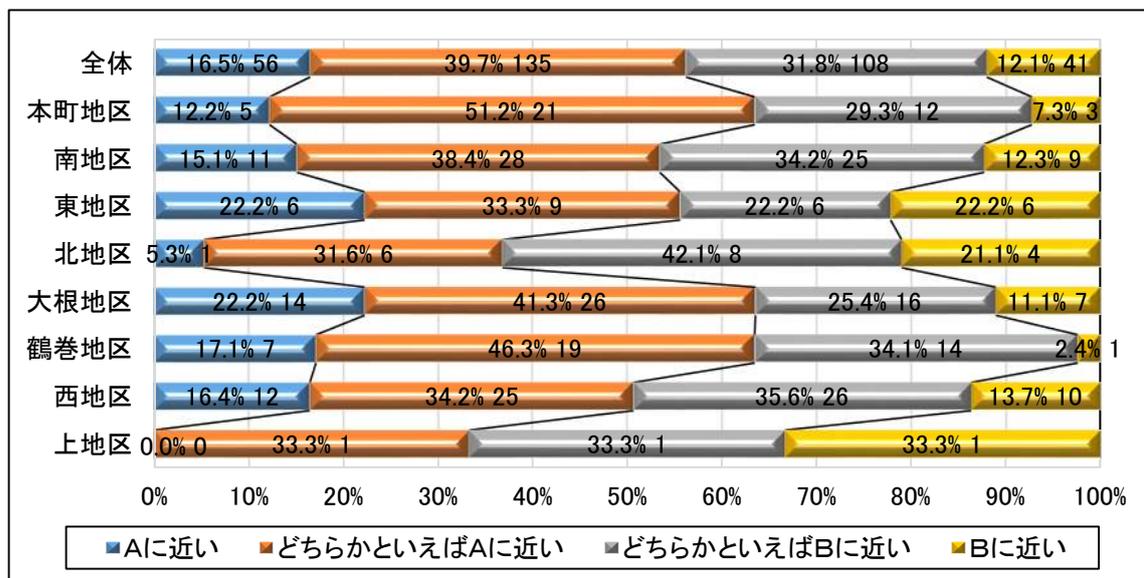
「Aに近い」と回答した人の割合は50代が最も高く、40代及び60代以上は20代及び30代よりも低くなりました。「どちらかといえばAに近い」と回答した人も含めると、公民連携の推進に積極的に賛成しているのは50代ということになりますが、それに次いで高い割合となっているのは20代及び30代です。



◆ 地区別の比較

サンプル数が少ない上地区を除くと、公民連携の推進に賛成となる「Aに近い」又は「どちらかといえばAに近い」と回答した人の割合は、本町地区、大根地区、鶴巻地区で高くなっています。

一方、「どちらかといえばBに近い」又は「Bに近い」と回答した人の割合は北地区が最も高く、西地区が次に高くなっています。



問6 秦野市では、将来にわたって公共施設を適正に維持していくため、15%程度だった施設の管理運営費（コスト）に対する利用者負担割合の適正化を目指し、平成29年10月に使用料の見直しを行いました。

しかし、今回の見直しでは従前の使用料等の2倍を引き上げの限度としたため、目標とする1/3の負担割合に達していない施設もあります。

今後も秦野市では、使用料見直しの効果を定期的に確認することにしており、その結果によっては再度の見直しを行うことも考えられます。

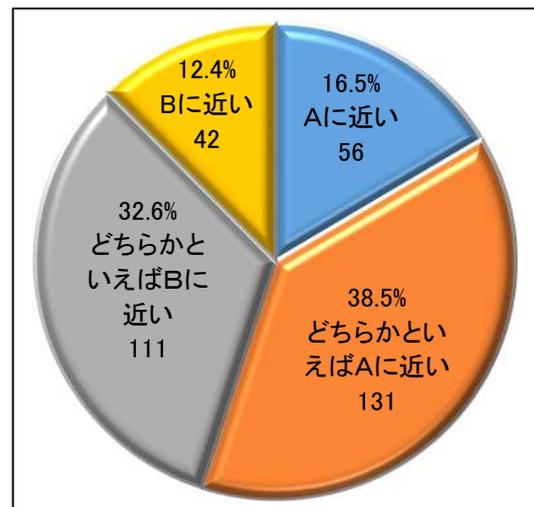
次の2つの考えのうち、あなたの考えに近いもの一つを選んでください。

**A**  
公共施設を適正に維持・管理していくためには、利用者が応分の負担をすべきであり、今後も実態に応じて使用料の見直しを行うべきである。

**B**  
公共施設の適正維持も大切だが、昨年度の見直しにより多くの施設で使用料が引き上げられ、利用しにくくなった人もいるため、これ以上の見直しは行うべきではない。

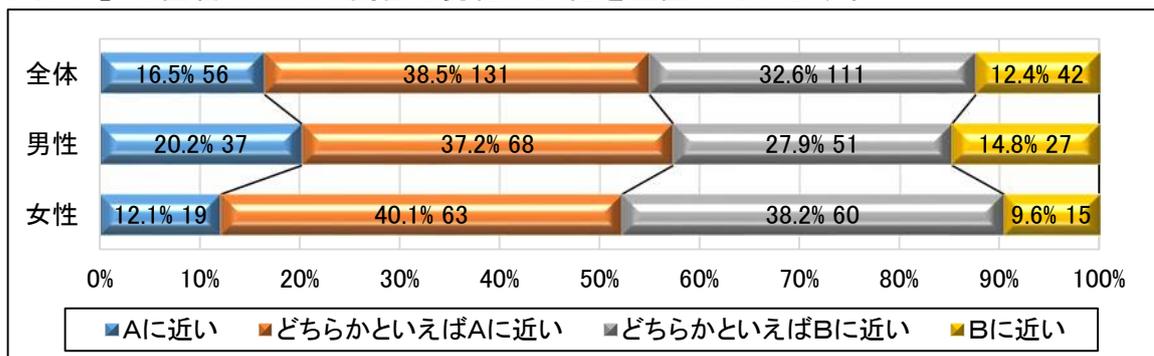
◆ 公共施設の利用者負担の見直しを行い、昨年10月から新料金体系に移行していますが、今後の利用者負担のあり方の参考とするために新設した質問です。

実態に応じた使用料の見直しに賛成となる「Aに近い」又は「どちらかといえばAに近い」と回答した人の割合は合わせて55.0%で、再度の見直しに反対となる回答をした人の割合を上回っています。



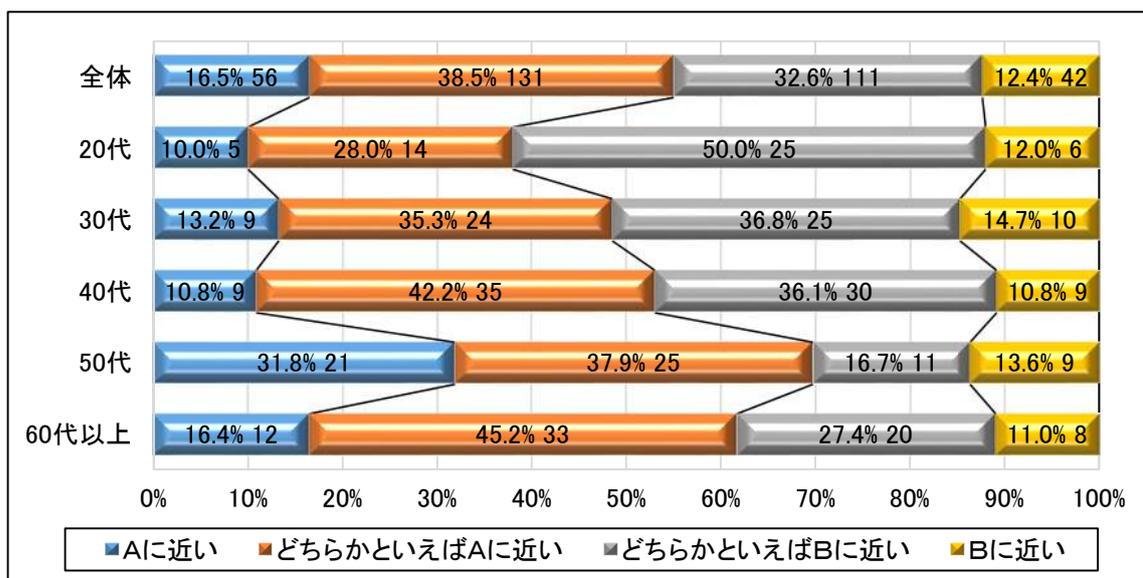
◆ 性別による比較

実態に応じた使用料の見直しに賛成となる「Aに近い」又は「どちらかといえばAに近い」と回答した人の割合は男性が女性を上回っています。これは男性が女性よりも「Aに近い」と回答した人の割合が高くなっているためです。しかし、「Bに近い」と回答した人の割合も男性が女性を上回っています。



◆ 年代別の比較

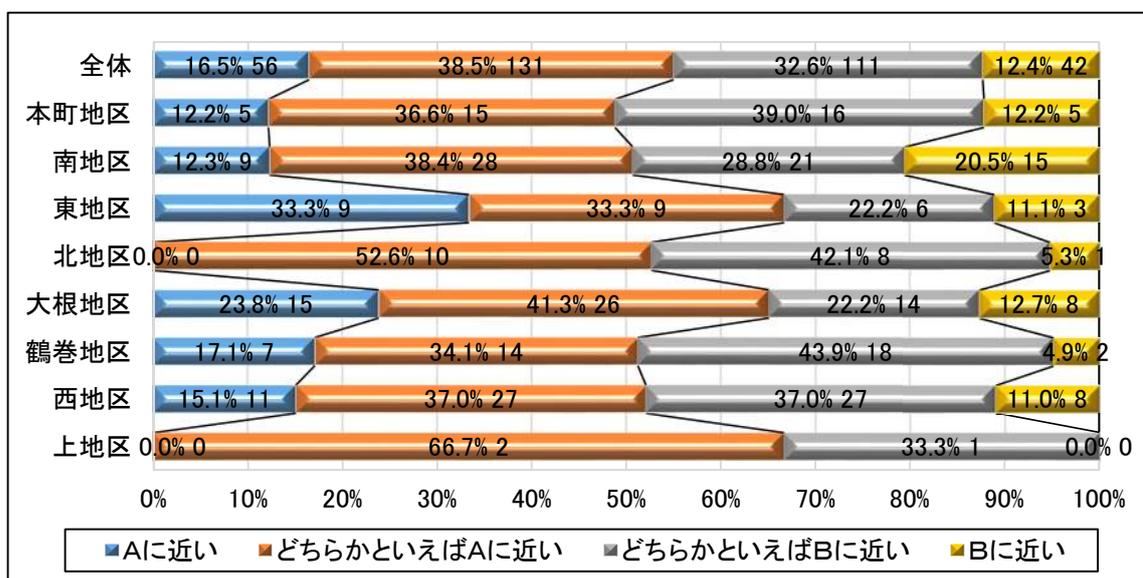
「Aに近い」と回答した人の割合は50代が最も高く、その他の世代では全体よりも低くなっています。「どちらかといえばAに近い」と回答した人も含めると、実態に応じた使用料の見直しに賛成しているのは50代で、それに次いで高い割合となっているのは60代以上です。



◆ 地区別の比較

サンプル数が少ない上地区を除くと、実態に応じた使用料の見直しに賛成となる「Aに近い」又は「どちらかといえばAに近い」と回答した人の割合は、東地区、大根地区で高くなっています。

一方、「どちらかといえばBに近い」又は「Bに近い」と回答した人の割合は本町地区、南地区、北地区、鶴巻地区、西地区で高くなっています。



問7 不特定の市民が利用できる公共施設のうち、あなたが将来にわたり、優先的に維持すべきと考える公共施設を5つまで選び、優先順位を付けてください。

◆ 1位と回答された割合が最も高かった施設は、過去の調査結果と同じく「図書館」となりました。以下、「公民館」、「カルチャーパーク」、「総合体育館」、「文化会館」となっています。

施設名	順位	1位		2位		3位		4位		5位	
		回答	%								
1	各地区の公民館	67	19.7%	25	7.4%	27	7.9%	27	7.9%	43	12.6%
2	総合体育館	44	12.9%	54	15.9%	53	15.6%	35	10.3%	25	7.4%
3	図書館	79	23.2%	63	18.5%	61	17.9%	26	7.6%	15	4.4%
4	保健福祉センター	18	5.3%	28	8.2%	35	10.3%	30	8.8%	33	9.7%
5	文化会館	30	8.8%	66	19.4%	36	10.6%	39	11.5%	32	9.4%
6	おおね公園	23	6.8%	28	8.2%	15	4.4%	25	7.4%	17	5.0%
7	カルチャーパーク(中央運動公園)	48	14.1%	37	10.9%	35	10.3%	45	13.2%	30	8.8%
8	各地区の児童館	3	0.9%	7	2.1%	13	3.8%	22	6.5%	27	7.9%
9	鶴巻温泉弘法の里湯	7	2.1%	11	3.2%	10	2.9%	11	3.2%	17	5.0%
10	名水はだの富士見の湯	1	0.3%	4	1.2%	6	1.8%	7	2.1%	9	2.6%
11	田原ふるさと公園	1	0.3%	1	0.3%	1	0.3%	7	2.1%	6	1.8%
12	広畑ふれあいプラザ	3	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.5%	1	0.3%
13	サンライフ鶴巻	2	0.6%	1	0.3%	1	0.3%	4	1.2%	3	0.9%
14	末広ふれあいセンター	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.3%
15	曲松児童センター	1	0.3%	0	0.0%	1	0.3%	2	0.6%	1	0.3%
16	桜土手古墳展示館	2	0.6%	1	0.3%	3	0.9%	5	1.5%	9	2.6%
17	表丹沢野外活動センター	0	0.0%	2	0.6%	6	1.8%	11	3.2%	11	3.2%
18	宮永岳彦記念美術館	0	0.0%	0	0.0%	3	0.9%	3	0.9%	4	1.2%
19	はだのこども館	2	0.6%	0	0.0%	5	1.5%	5	1.5%	8	2.4%
20	中野健康センター	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
21	くずはの家	0	0.0%	0	0.0%	6	1.8%	4	1.2%	8	2.4%
22	里山ふれあいセンター	0	0.0%	0	0.0%	3	0.9%	0	0.0%	4	1.2%
23	この中にはない	9	2.6%	11	3.2%	19	5.6%	27	7.9%	35	10.3%

◆ 得点化による集計

各施設別に第1位を5点、第2位を4点…第5位を1点として合計した結果、第1位と回答された割合が最も高かった「図書館」がこの集計でも1位となりました。

【凡例】 「←：同順位」 「↑：上昇」 「↓：下落」

順位		施設名	得点	前回順位	前々回順位
1	←	図書館	897	1	←
2	←	総合体育館	690	2	←
3	←	文化会館	632	3	↑
4	←	各地区の公民館	613	4	↓
5	←	カルチャーパーク(中央運動公園)	613	5	↓
6	←	保健福祉センター	400	6	←
7	←	おおね公園	339	7	←
8	↑	各地区の児童館	153	9	←
9	↓	鶴巻温泉弘法の里湯	148	8	←
10	↑	名水はだの富士見の湯	62	-	-
11	↓	表丹沢野外活動センター	59	10	←
12	←	はだのこども館	43	12	↓
13	↓	桜土手古墳展示館	42	11	↑
14	←	くずはの家	34	14	↑
15	↓	田原ふるさと公園	32	12	←
16	↓	サンライフ鶴巻	28	15	↓
17	↓	広畑ふれあいプラザ	26	16	↓
18	↑	宮永岳彦記念美術館	19	20	↑
19	↓	曲松児童センター	13	17	←
20	↓	里山ふれあいセンター	13	18	↑
21	↓	中野健康センター	5	19	↓
22	↓	末広ふれあいセンター	4	21	↓

問8 秦野市では、平成23年(2011年)から平成32年(2020年)までの10年間で「公共施設再配置計画第1期基本計画」の期間として、「公共施設の再配置」を進めています。

この計画の基本方針として、「義務教育、子育て支援、行政事務スペース」はその機能の維持を最優先することとし、最優先の機能に次ぐ「優先的に維持していく機能」は、市民ニーズ等を踏まえたうえで順位付けを行う予定です。

不特定の市民が利用できる公共施設の機能のうち、あなたが廃止又は縮小しても良いと考える施設の機能を3つまで選び、廃止又は縮小しても良いと考える順に順位をつけてください。

◆ 平成33年(2021年)を始期とする「公共施設再配置計画第2期基本計画」策定の参考とするために新設した質問です。

第1位と回答された割合が最も高かった機能は、「住宅に関する機能」となりました。次いで「この中にはない」、「生涯学習に関する機能」、「観光・産業振興に関する機能」、「文化芸術に関する機能」となっています。

施設名	順位	1位		2位		3位	
		回答	%	回答	%	回答	%
1 生涯学習に関する機能		38	11.2%	38	11.2%	37	10.9%
2 青少年の健全育成に関する機能		23	6.8%	37	10.9%	16	4.7%
3 文化・芸術に関する機能		24	7.1%	20	5.9%	27	7.9%
4 スポーツ・健康に関する機能		23	6.8%	22	6.5%	21	6.2%
5 高齢者に関する機能		22	6.5%	35	10.3%	30	8.8%
6 福祉に関する機能		17	5.0%	24	7.1%	22	6.5%
7 観光・産業振興に関する機能		36	10.6%	41	12.1%	26	7.6%
8 住宅に関する機能		90	26.5%	30	8.8%	24	7.1%
9 公園・緑地に関する機能		19	5.6%	31	9.1%	36	10.6%
10 この中にはない		48	14.1%	62	18.2%	101	29.7%

◆ 得点化による集計

各機能別に第1位を3点、第2位を2点、第3位を1点として合計した結果、第1位と回答された割合が最も高かった「住宅に関する機能」がこの集計でも1位となりました。

順位	施設名	得点
1	住宅に関する機能	354
2	生涯学習に関する機能	227
3	観光・産業振興に関する機能	216
4	高齢者に関する機能	166
5	青少年の健全育成に関する機能	159
6	公園・緑地に関する機能	155
7	文化・芸術に関する機能	139
8	スポーツ・健康に関する機能	134
9	福祉に関する機能	121

問9 秦野市では「公共施設再配置計画」の基本方針において「原則として、新規の公共施設（ハコモノ）は建設しない。建設する場合には、更新予定施設の更新を同面積（コスト）だけ取りやめる」として、40年間で公共施設の床面積を31.3%削減する目標を掲げています。

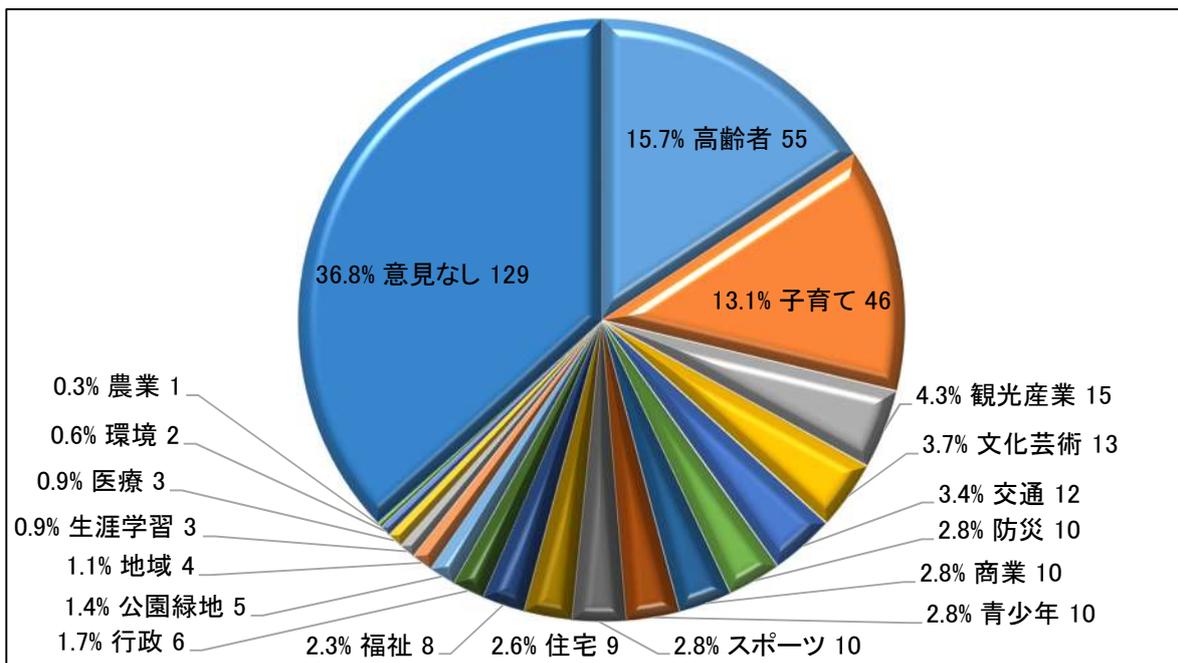
しかし、少子高齢化が進行していく中にあるには、既存の施設にはない新たな機能を持った施設や、既存の施設において現在あまり注目されていない機能の拡充などが必要になるかもしれません。

将来的に財政状況の好転が見込まれない状態にあっても、あなたが「今後の秦野市に必要な」と考える「新たな機能」や「拡充が必要な機能」があれば記入してください（自由記入）。

◆ 問8と同じく、平成33年(2021年)を始期とする「公共施設再配置計画第2期基本計画」策定の参考とするために新設した質問で、少子高齢化の進行に伴い、将来的に必要となる「新たな機能」や「拡充が必要な機能」について、自由記載形式で意見をいただきました。

アンケート回答者340人のうち、自由意見を記入した人数は267人(78.5%)で、延べ279件の意見があり、内容を機能別に分類したところ、全部で351件の意見となりました。

このうち、市への要望や「特になし」とする記載、ソフト面に関する内容など、新たな機能や拡充が必要な機能等に該当しない129件(36.8%)を「意見なし」としてまとめたところ、最も高い割合となった機能は「高齢者に関する機能」で、次に高かった機能は「子育てに関する機能」でした。このふたつの機能が全体の約3割、「意見なし」を除いた回答の45.5%を占める結果となりました。



◆ 問9 自由意見一覧

複数の機能を含む回答があるため、機能別分類の合計数である 351 件と回答数は一致しません。具体的な機能が明記されていない回答は「対象外」としています。

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
1	民間委託	対象外	男性	57	会社(事務)
2	これから増えるであろう高齢者のための施設	高齢	男性	52	自業
3	増やさねばならない子ども・青少年のための施設	子育て	男性	52	自業
4	特になし	対象外	男性	52	会社(事務)
5	わからない	対象外	男性	55	公務員
6	特に思いつかない	対象外	男性	56	無職
7	保育園、学校の先生の教育、教育や部活の充実	対象外	男性	54	会社(技術系)
8	そんなものは、無い	対象外	男性	52	無職
9	市営住宅等の一部の人のためのものは廃止し、誰もが使えるものに投資をするべきだと思う。	対象外	男性	35	公務員
10	就園前の子供達が遊べる子供支援センターの充実	子育て	女性	64	専業主婦(主夫)
11	思いつかない。	対象外	女性	52	パート・アルバイト
12	ない	対象外	男性	44	無職
13	運転免許を返上する高齢者層の増加に対する交通・運輸機能面の充足が必須であろう	交通	男性	65	無職
14	大和市の図書館の事をTVで最近見ました。似たようなことを秦野でもできないでしょうか	文化芸術	女性	63	専業主婦(主夫)
15	これから起こるであろう災害時の避難場所としての機能。	防災	女性	51	専業主婦(主夫)
16	公営の老人ホーム	高齢	男性	41	無職
17	老人ホームと託児所が一緒になった施設	高齢・子育て	女性	49	専業主婦(主夫)
18	保育所の設置です。	子育て	女性	24	会社(技術系)
19	公共施設は必要であり、公民館等の充実により健康高齢者が増え介護費用の抑制につながる。	生涯学習	男性	58	公務員
20	公共施設ではないかもしれないが、特養や老健といった介護施設は必要だと思う。	高齢	男性	38	会社(事務)
21	緑豊かな場所	公園緑地	女性	21	学生
22	保育園、預かり所などの増設	子育て	女性	31	パート・アルバイト
23	魅力のある施設	対象外	男性	44	自業
24	観光客が来するような施設。	観光産業	男性	38	会社(その他)
25	曲松児童センターに避難所機能を持たせること。桜土手史料館は利用者がほとんどいないため、維持費を考えると廃止してもよい。	防災	男性	57	自業
26	削減するだけでは、縮小均衡に陥るだけなのでは？ 人口増のために、子育て支援が充実していると良いと思います。実現可能かは分かりませんが、公立で3年保育の幼稚園(既存幼稚園の拡張でも)があると助かります。	子育て	男性	41	会社(技術系)
27	特になし	対象外	男性	49	会社(その他)
28	市には大きな病院が第一に必要なと思う。産科、小児科の充実。	医療	女性	34	会社(その他)

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
29	とくになし	稼外	男性	38	自業
30	大型のショッピングモールの誘致。	競	男性	46	会員(技係)
31	コミュニティーバスの充実。	交通	男性	46	会員(技係)
32	特に必要なし。強いて言えば、孤独高齢者や孤独困窮（生活保護に満たない）などの受け入れ態勢などが出来る施設。	高齢	男性	40	パート・アルバイト
33	特に無し。コスト削減が最優先	稼外	男性	30	自業
34	特になし	稼外	男性	42	会員(その他)
35	特になし	稼外	男性	25	学生
36	低所得者向けの市営住宅をもっと増やしてほしい。	住宅	男性	31	パート・アルバイト
37	本屋さんが必要	競	男性	20	学生
38	一人高齢者と幼児の見守りの複合機能。	高齢・子育て	男性	68	無職
39	子供と高齢者の住みやすい町	高齢・子育て	男性	48	会員(その他)
40	秦野市は子育てしやすい環境だと思うので、子育てに関する施設は減らすのは反対です。	子育て	女性	38	専業主婦(主夫)
41	内容	稼外	男性	56	会員(その他)
42	農業に関するもの	農	女性	44	自業
43	施設より保育園の設置が必要だと感じます。 通にくいようなところに新しく出来ても意味がありません。	子育て	女性	28	専業主婦(主夫)
44	また市役所派出所でも出来る事を増やして欲しい。	行政	女性	28	専業主婦(主夫)
45	市役所の立替	行政	男性	28	会員(技係)
46	逆に不要な施設があると思うのでもっと整理したほうがよいと思う	稼外	男性	38	会員(事務)
47	地域で高齢者の支援を行う拠点	高齢	男性	57	自業
48	市役所業務（書類入手）のさらなるハブ化拡充	行政	男性	46	会員(技係)
49	ゴミを高熱で焼却する施設。世田谷区のように燃やすものの種類を増やすほうが良いと思う。	環境	男性	53	会員(技係)
50	なし	稼外	男性	54	自業
51	民間の活用。市の資源を活用し利益追求。市も儲けるべき。	稼外	男性	51	会員(技係)
52	人件費の削減	稼外	男性	59	パート・アルバイト
53	高齢者が出入りしやすい施設	高齢	男性	64	経営者・役員
54	特にない。	稼外	女性	37	パート・アルバイト
55	特にない	稼外	男性	54	自業
56	特にない	稼外	男性	72	無職
57	市が発展しない要因としていくつか考えられますがその一つが図書館が古い事本の数があまりにも少ないこと。子供から大人まで学び育つ環境で重要な施設が置き去りにされている点を見直すことが必須	文化芸術	女性	62	専業主婦(主夫)
58	特になし	稼外	男性	52	会員(技係)
59	現状を維持	稼外	男性	57	公職
60	財政が好転しない以上、公共施設の減少はやむを得ない。残った	稼外	男性	70	無職

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
	施設の充実した運営を図り、民間に移譲できるものは移譲することを基本とする。				
61	コストとかわからないが必要ものはあった方がいい	嫁外	男性	46	会員(その他)
62	高齢者対象の収容コミュニティ施設	高齢	男性	61	会員(技術系)
63	外国人観光客が日本に来て外貨を使ってくれるのと違い、市政は住んでもらう事が目的、目標になるはず。市民だけで市内でお金をまわしていても効果なんてあるわけが無い。	嫁外	男性	41	会員(技術系)
64	わからない	嫁外	男性	72	その他
65	自然を武器にした施設	観光・緑	男性	36	公務員
66	高齢者向け施設の充実	高齢	男性	45	会員(技術系)
67	高齢化社会に対応できる人にやさしい環境	高齢	男性	49	会員(その他)
68	高齢者用の管理アパートやマンション。管理者が緊急時にかけつけてくれるようなシステム付。パブリックスペースで、定期的にエクササイズできるようなプログラム付。	高齢・住	女性	41	会員(その他)
69	わからない	嫁外	女性	51	専業主婦(主夫)
70	お年寄りや障害を持った人が住みたくなるような町づくりを進める。自然豊かな環境とうまく融合させて他市とは違うことをアピールできるようなことができないか考える。 お年寄りや障害を持った人が秦野に住みたくて集まってくる、またそれを支える仕組みに民間企業やNPOを活用することにそれに関わる人も集まってくる。 具体的にどのようにはまだ解らないが、そのような秦野市になっていったらと思う。	嫁外	男性	65	無
71	わからない	嫁外	女性	24	会員(その他)
72	今にも壊れそうな児童館	青年	女性	42	パート・アルバイト
73	私は秦野市に住んで15年ですが、都市化が進んでいるように思う。秦野本来の姿、近代農業都市を目指してもらいたい。	嫁外	男性	71	無
74	とくにありません	嫁外	女性	55	専業主婦(主夫)
75	温水プール	スポーツ	女性	44	専業主婦(主夫)
76	特になし	嫁外	女性	63	専業主婦(主夫)
77	将来的に秦野市から出るのでどうでもいい	嫁外	女性	25	会員(事務系)
78	なし	嫁外	男性	35	会員(事務系)
79	他の地域からの図書も簡単な手続きで取り寄せができる。 運動公園を利用した定期大会を開催。 水無川沿いの遊歩道の活用	嫁外	男性	50	会員(技術系)
80	第二東名開通に伴い。観光・自然の充実が必要。	観光・緑	男性	66	会員(技術系)
81	高齢社会による働き手不足を補うための、高齢者向けの職業訓練施設や就労支援施設	高齢	男性	39	会員(技術系)
82	教育無料化	嫁外	男性	49	自営業
83	東海大学生の自転車の取り締まり強化。	嫁外	男性	33	会員(事務系)
84	特になし	嫁外	女性	35	会員(事務系)

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
85	特にありませんが、他市の財政状況の優れている部分を取り入れることがいいのかなと思います。 もしくは実際に秦野市民の声を聞くため、市役所や公共施設の場に意見書などを設置してより市民の声を調査して必要なものを見極めていくことも大切なのかなと思います。 素人のとても個人的な意見になりますが、少しでも市財政の向上につながるように、市役所立体駐車場下でフリーマーケットを開催して出店料の諸経費を引いたものを市財政に充てたり、今日ではクライマーが増加傾向でありコンビニ（特に落合、名古屋にあるセブンイレブン）などと連携しクライマー専用の駐車場設置（100円～200円）などで収入を得て市財政に充てることができればいいのかなと思います。	稼外	女性	32	専業主婦(夫)
86	災害時に避難先で安心、安全に過ごせる設備、備品の確保。	防災	男性	55	経営者・役員
87	郵便ポストとコンビニ	稼外	女性	53	自業
88	特になし	稼外	女性	38	専業主婦(夫)
89	市場がほしい	商業	女性	22	会員(その他)
90	災害時に使えるところ	防災	女性	37	パート・アルバイト
91	観光施設が乏しく、市民からの税金で補うには限界がある。 初期投資として考え、秦野市に道の駅を作って欲しい。 新東名高速道路のインターチェンジもできることにより、人を呼び込むチャンスと捉えるべき	観光・娯楽	男性	36	会員(技術系)
92	現状維持でよい	稼外	男性	55	会員(技術系)
93	特にない	稼外	男性	78	無職
94	高齢の方が多くなっているの、タクシーサービスみたいな高齢者の足になれるサービスがあってもいいと思う。	交通	女性	24	会員(その他)
95	とくになし	稼外	男性	43	その他
96	まず秦野市職員の人件費を削減し、無駄なお金をかけないでほしい。その上で、地域に合った施設や機能的なサービスを行うべき。	稼外	女性	31	会員(その他)
97	わからない。	稼外	女性	32	パート・アルバイト
98	温泉や山登りに来る人を受け入れる施設	観光・娯楽	男性	25	学生
99	特にありません	稼外	女性	52	専業主婦(夫)
100	今後ますます高齢化が進むであろうから高齢者のための施設や機能はどうしても拡充しなければならない。	高齢	男性	39	自業
101	特になし	稼外	女性	30	無職
102	不必要なもの：市の管理職、役立たずな職員、市長	稼外	男性	63	無職
103	駅前周辺も活気がなく店も少ないので施設は通いやすい駅周辺でないと。バスとか交通事情もあまりよくないので車の運転する人も減少すると思います。	稼外	女性	46	専業主婦(夫)
104	秦野市は観光客に力を入れるべき せっかく登山客の為に飲食店とかないのもったえない	観光・娯楽	女性	64	専業主婦(夫)

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
105	公共による市内循環バスの拡充	交通	男性	72	パート・アルバイト
106	高齢化社会に対応できる施設の拡充	高齢	男性	72	パート・アルバイト
107	既存の施設が各地に点在し、利用者が限定されている。特に秦野駅周辺にはほとんどない。 周辺施設を減らし、機能の統合をすることでハコモノ施設を整理する視点でお願いしたい。あと、「鳥も住める市」の標語？はみともない。人もすめるのか？と突っ込みを入れたくなる。	ほか	男性	67	無
108	駅前のコンビニ、駅前に安いスーパー、駅前に飲食店、駅前に100円ショップ	ほか	女性	20	学
109	ない	ほか	男性	70	無
110	特に無し	ほか	男性	69	自業
111	商業施設の充実化。	商業	男性	67	会社(その他)
112	分からない	ほか	男性	44	自業
113	特になし	ほか	女性	20	学
114	・おおね公園の多目的広場の有効活用 現在限られた競技や行事になっているので、より広く活用できるようにする。 (例：市民体育祭を実施できるようにするための手段)	ほか	男性	66	自業
115	福祉関係の施設が必要になると思う。	福祉	男性	25	学
116	特に思いつかない	ほか	男性	71	無
117	無料シャトルバス	交通	女性	23	学
118	新東名のサービスエリアを利用し観光、温泉、ショッピングモールを備え観光客を呼び込む。	観光・商業	男性	71	無
119	わからない	ほか	女性	44	専業主婦(主夫)
120	高齢者対策 コンパクトシティ	高齢	男性	65	自業
121	図書館の充実	文化芸術	女性	39	公務員
122	特にし	ほか	女性	34	専業主婦(主夫)
123	こども食堂のように孤食になるこどもや高齢者のためにみんなで食事ができる場所があると良いと思う。そこで退職した中高年の方を雇用したらいかがでしょうか。	高齢・子育て	女性	40	専業主婦(主夫)
124	特になし	ほか	男性	39	会社(その他)
125	今後、秦野市をどのような地域にするかにより、特徴機能の拡充が選択されるべきと考えますが、まずは小田急秦野駅北口での交通便利性改善が最優先と考えます。現状混雑が発生し易いシステムとなっている。	ほか	男性	72	無
126	秦野市の一番の魅力は「緑と水」自然豊かな風土であると思います。その豊かな自然を活かすことが最大の公共施設ではないでしょうか。	ほか	男性	71	自業
127	大きな公園よりも、住宅街の空き地に公園が欲しい。 道路で遊ぶ子供たちが多いため。	公園・緑地	女性	40	パート・アルバイト

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
128	恵まれた自然環境を首都圏の人に満喫してもらうような総合的な施設（宿泊も可能、リピーターを増やす）をコストを抑えてつくるべきである。	観光	男性	75	無
129	特に今は考えつかない	稼外	女性	26	パート・アルバイト
130	高齢者向けの施設・児童用施設・障害者用施設と分けるのではなく一緒に楽しめる施設が必要だと思う。異なった環境や異なった年齢の人と接することの出来る公共施設が人を育てていくと思う。	高齢・子育て・福祉	女性	53	専業主婦
131	ショッピングモールなどの大型店舗がほしい	商業	女性	49	専業主婦
132	年代別に区切らないで利用できる文化やスポーツなどを支援する施設とシステム	文化・スポーツ	女性	49	パート・アルバイト
133	東海大学の存在により若い方や外国人も多い。お年寄りとの交流の場を設けてほしい。	高齢	女性	45	会社員(技術系)
134	特になし	稼外	女性	21	学生
135	保育所	子育て	男性	59	会社員(事務系)
136	わからない	稼外	男性	22	学生
137	なし	稼外	男性	37	会社員(技術系)
138	丹沢の玄関口としての観光施設の充実。	観光	男性	40	自営業
139	歴史博物館など。	文化・芸術	男性	40	自営業
140	高齢者向けの施設は、必要になってくると思うので、高齢者特化したもの	高齢	女性	66	専業主婦
141	私は小学生の子供がいます。秦野市では中学がお弁当だと聞いたので、給食センターができるとありがたいです。あと子どもの医療費を通院も中学生まで拡大してほしいです。 財政状況が好転になる見込みがなければ、新しいものを作るより、既存のものを新しく生まれ変わらせる事が出来ればいいのかと思います。	子育て	女性	40	専業主婦
142	子供とお年寄りの為の施設は必要。	高齢・子育て	女性	43	専業主婦
143	利用率が低い施設は民間に任せて、無駄に使用されている税金を移住者促進に使う。空き家が目立つので、有効に使えるように補助してほしい。また雇用を推進できるように、神奈川県西部地区の経済特区などの誘致政策をしてほしい。	稼外	男性	55	自営業
144	特に思い付きません	稼外	女性	52	専業主婦
145	防災や犯罪に対する専門的なセンター施設。学んだり身を守ったり、地域と一緒にあって 皆が暮らしやすくなる。	防災	女性	48	パート・アルバイト
146	特にない	稼外	男性	64	無
147	高齢者向け集合住宅。訪問介護による介護費用を抑え、お互い手助けし合いながら生活を支え合い、それでも必要なところは専門職に依頼することとする。また、空き家にせず、若年層に売却するシステムにし人口の流出を抑える。	高齢・住宅	女性	55	専業主婦
148	具体的にはわからないが、若者や子供のいる若い世帯の移住を促	住宅	女性	55	無

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
	進する機能				
149	大根鶴巻地区にも図書館やコンサートホールが欲しい	文化芸術	女性	55	専業主婦(主夫)
150	高齢化社会で今後、益々、諸々の施設が必要になると考えられます。少しでも利用者の負担が少なく利用できる施設が増えれば良いと思います。	高齢者	女性	65	自営業
151	特に浮かばない	地域	男性	45	会社員(事務系)
152	高齢化が進むと思うので、高齢者が気軽に交流できる場所があると思います。	高齢者	女性	40	専業主婦(主夫)
153	地方は国と違って、通貨発行権がないので、夕張のように破綻するので、今のやり方を継続していくほかないと思う。 ただ必要な予算は組むべきだし、国に地方交付金をは増やしてもらおう、要望は出すべきだと思う。国は財源を心配する必要はないのだから。	地域	男性	43	パート・アルバイト
154	温水プール	スポーツ	女性	37	パート・アルバイト
155	公民館の職員の教育	地域	女性	37	パート・アルバイト
156	産院が少なすぎるので、日赤に産科を早急に復活させるべき。子育て支援といいながら、産める場所が少ないんじゃない意味ない。	医療	女性	28	専業主婦(主夫)
157	人を呼ぶことができる政策が必要です。豊かな自然を生かした施設整備など。新東名と戸川公園の活用、新東名と温泉施設、鶴巻温泉の活性化など。	観光・娯楽	男性	73	無職
158	おおね公園のプールの値段が上がりすぎ。	地域	女性	38	専業主婦(主夫)
159	特になし	地域	男性	34	会社員(その他)
160	屋内プール	スポーツ	女性	45	パート・アルバイト
161	スポーツや野外施設に対して文化教養を育む施設が貧弱に見える。例えば図書館についていえば、本当に魅力ある児童文学の蔵書が古く、買い替えや配置換えの時期に来ている。良いものほど借りてもらえない状況では育つものも育たず残念だと思う。リストの配布などして各家庭への協力をはかることもできる。児童館や公民館、小中学校との連携を行いながら、施設の使い方も指導紹介するシステムがあるとよい。	文化芸術	女性	47	専業主婦(主夫)
162	特にない	地域	男性	68	無職
163	とくになし	地域	女性	64	パート・アルバイト
164	少子高齢化に向けて、働く親が安心して遊んだり学ぶ事ができる子供たちの空間やこれから更に増えていくであろう高齢者の憩いの場となるような空間は必要だと思いました。	高齢者・子育て	男性	40	その他
165	子育て支援	子育て	男性	54	会社員(事務系)
166	障害者に対する支援の充実	地域	男性	37	会社員(技術系)
167	特になし	地域	男性	56	会社員(その他)
168	特定の対象者、目的別の施設を止めて、何にでも使える施設を作る。	地域	女性	70	専業主婦(主夫)
169	特なし	地域	男性	59	会社員(技術系)

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
170	特になし	嫁外	女性	31	パート・アルバイト
171	今の緑のある状況を維持整備してほしい。	嫁外	男性	70	無職
172	中学校の給食実施	子育て	女性	40	パート・アルバイト
173	特になし	嫁外	女性	34	専業主婦(主夫)
174	第二東名開通による、サービスエリアに隣接した施設建設には興味があります。サービスエリア利用者を取り込めるのではないのでしょうか？	観光・娯楽	男性	46	会社員(その他)
175	道にお金をかけすぎ	嫁外	女性	38	パート・アルバイト
176	子供からお年寄りまで様々な方々が一緒に学びに遊びに活動できる場所として、既存の公共施設を多目的に利用できればいいのではないかと思います。	高齢者・子育て	女性	43	専業主婦(主夫)
177	特になし	嫁外	男性	56	会社員(技術系)
178	もっとビジネスや企業誘致を積極的に進めるべきだと思う。	嫁外	男性	42	会社員(その他)
179	高齢者のバスのフリーパス 市営のリムジンバス	交通	女性	57	専業主婦(主夫)
180	なし	嫁外	女性	28	会社員(その他)
181	・将来をにう子供に関する施設	子育て	男性	69	無職
182	・健康寿命を延ばす施設	高齢者	男性	69	無職
183	なし	嫁外	女性	74	パート・アルバイト
184	文化芸術への資源配分が少ない。青少年育成の観点でも、箱物だけでなく予算的な支援を拡充すべき。	文化芸術	男性	59	会社員(技術系)
185	高齢者、障害者が利用しやすいエスカレーターやエレベーターの設置。バスやタクシーの利用料を補助。買い物の補助。	高齢者・福祉	女性	45	パート・アルバイト
186	子供から老人まで利用できる健康促進のための指導施設	高齢者・子育て	女性	61	パート・アルバイト
187	自治会の充実化と自治会館の有効活用	地域	女性	70	無職
188	防災や災害拠点に関する機能（情報の拠点など）	防災	男性	41	公務員
189	わからない	嫁外	女性	29	専業主婦(主夫)
190	特にありません	嫁外	男性	46	会社員(技術系)
191	これから少子化に突入していく中、公民館に児童館の役目も兼ねてもらいたいと思います。海外からの登山客や名水や温泉等が収入源になるので、もっと多くの人に知ってもらうため、お金をかけずにできる宣伝活動が必要。	生涯学習・青年	女性	43	会社員(その他)
192	わからない	嫁外	男性	44	会社員(技術系)
193	特になし	嫁外	女性	48	公務員
194	なし	嫁外	男性	48	会社員(技術系)
195	子供の虐待のニュースが多く見られますが、そちらの方面に是非とも力を入れて欲しい。少子化に向かっているいま、幸せな生活を送れる子供ばかりになって欲しい。秦野で幸せな記憶をつくれるように。	嫁外	女性	41	専業主婦(主夫)
196	児童のための施設の充実	青年	男性	39	会社員(その他)
197	学校を老人が入居できる施設にできるような仕組みづくり。階段しかない学校にエレベーターを設置するなど。	高齢者	女性	50	会社員(事務系)

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
198	桜、登山関連の観光施設	観光	男性	48	会社員(技術系)
199	コミュニケーションがとれるところ	娯外	男性	38	会社員(技術系)
200	ミライエなど若者定住住宅を充実して関連施設を組み合わせる。	住宅	男性	63	自営業
201	特になし	娯外	男性	69	その他
202	コンピューター化していく社会に対応する IR 施設	娯外	男性	71	公務員
203	高齢者でも元気なら働けるような職場を作る。	高齢	女性	68	無職
204	空き家や団地を利用して託児所や保育園を増やし、子供を産んでも働ける環境作り。	子育て	女性	68	無職
205	特にない	娯外	男性	55	会社員(技術系)
206	特にない	娯外	女性	58	専業主婦(主夫)
207	子育てに役立つ施設を作って、若い世代の住民を増やした方が良い。例えば、小さな公園や広場、児童館。	公園・緑地・青少年	女性	40	専業主婦(主夫)
208	子供を対象にした施設は、いつ行っても飽和状態で、公園でいうと、遊具が壊れているが独自で修復したようなものが多々みられるため、そういった利用の多い施設においては、補修拡大を実施して欲しい。	公園・緑地	男性	32	会社員(技術系)
209	住民の高齢化によって、高齢者のニーズに対応することも必要だが、子供の住みにくい地域になっている印象がある。(ボール遊びができない 騒音の苦情など) このままだと、将来を担う若者は秦野から出てしまい、ますます厳しい財政状況になると思われます。 もっと、子供や若者が利用しやすい施設を増やしてほしいです。鶴巻地区ではバドミントンができる施設がサンライフしかありません。それも、コートが1つしかはれない小さな体育室です。大根公園に体育室を作るか、せめて鶴巻公民館の体育館でもバドミントンができるようにしてほしいです。	スポーツ	女性	41	専業主婦(主夫)
210	特になし	娯外	男性	74	パート・アルバイト
211	公務員の人たちが新しいアイデアを発想できるような人材を増やす	娯外	女性	43	パート・アルバイト
212	特に無い。	娯外	男性	73	無職
213	大地震等の災害時に避難場所になる施設は必要	防災	男性	52	無職
214	市の人件費、ムダの削減のための民営化	娯外	男性	61	会社員(技術系)
215	複合的な施設。スポーツも出来て読書も出来て、ショッピングもできて、人が集まりやすい機能。	スポーツ・文化芸術・商業	男性	58	会社員(その他)
216	高齢者のための施設。介護のための施設。機能維持のための施設	高齢	男性	60	会社員(事務系)
217	古きよき伝統や景観として残していくものを大事にしていくべき。桜並木などだんだんと自然と人的要因で劣ろうて行くのが残念であり、秦野の行く末のようにも見える	娯外	男性	69	その他
218	今後、関東大震災などの災害が起きた時に安全に避難出来る場所に対するの公共工事はしていった方が良いと思う。	防災	女性	48	会社員(その他)
219	老人福祉施設と保育園や児童館機能の合体	高齢・子育て・青少年	女性	60	公務員

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
220	特になし	稼外	男性	69	パート・アルバイト
221	なし	稼外	男性	33	公務員
222	図書館の本の貯蔵の増加、学生が勉強できる個室スペースを設けた図書館	文化芸術・青年	男性	24	会社員(その他)
223	特になし	稼外	男性	65	パート・アルバイト
224	特になし	稼外	男性	25	無職
225	福祉施設の充実を徹底的に行ってほしい。	福祉	女性	47	自営業
226	精神的、肉体的に健康を維持するために貢献する機能。	福祉	男性	67	自営業
227	魅力のある商業施設も格段に少ないので、その集客を見込める商業施設の誘致などに力を入れれば財政も少しは潤うかと、素人考えでは思います。	商業	女性	44	専業主婦(主夫)
228	子供が遊べる施設	子育て	女性	42	パート・アルバイト
229	サイクリングロード	スポーツ	男性	39	会社員(技術系)
230	わからない。	稼外	男性	78	無職
231	秦野駅を中心を北口から南口にし。市役所(東京の区役所)を作り。駅を中心とした街にして活性化を図り、小田急以外の鉄道(JRなど)・高速バスを乗り入れて。県央の交通ハブとなるようにし、東京・羽田へのアクセスを大幅向上をしてほしい。今は、東京・横浜・羽田へのアクセスが主に小田急しかなく非常に不便。理想は、東京・羽田まで1時間50分以内。	交通・運輸	男性	63	無職
232	特にございません。	稼外	男性	39	会社員(その他)
233	今後も老人が増え続けるので、介護保険適応までに至らない老人の健康維持、機能維持に取り組む仕組みを作ることが将来の財政圧迫を防ぐと思います。	高齢者	女性	59	専業主婦(主夫)
234	子育て環境を充実させる機能を持った施設を増やして、流入人口の増加を目指すべきだと思う。	子育て	男性	57	その他
235	若い世代が住みたくなる地域にしなくてはいけないと思う。神奈川県内で土地代も安く小田急線で新宿にも通える地域であるため、若い世代が住みたくなる制度に力をいれる。例えば海老名市が行っていた奨学金の補助など子育て世代をターゲットに取り組み、アピールが必要。	稼外	女性	28	会社員(技術系)
236	特に浮かばない。	稼外	男性	71	無職
237	コミュニティー施設は今後も必要だと思います。 一人暮らしの人も気軽に参加できるもの	地域	女性	58	パート・アルバイト
238	若者夫婦の秦野市への移住を促進できるような駅近くのマンション、その近くの保育所、土日にファミリーが過ごせるような魅力的なショッピングモール、映画館、登山客をより呼び込めるような宿泊施設	住宅・子育て・観光・娯楽	女性	41	会社員(事務系)
239	自家用車以外の移動手段。箱ものがいくら充実しても、実際に行けない	交通	女性	60	パート・アルバイト

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
240	子育てに関する施設	子育て	女性	54	パート・アルバイト
241	現状を充実し、今後のことはひとまず据え置く。 それ以上に市会議員の削減、更に残った議員の報酬手当の削減、更に市職員定数の見直しを考える。	除外	男性	66	無職
242	カルチャーパーク内のプールのシーズンオフの活用	除外	男性	38	その他
243	小さな子どもと親が、施設内で学んだり遊べたりする場所	子育て	女性	50	公務員
244	高齢者の施設。	高齢	女性	55	会社員(事務系)
245	市営総合病院。終末医療病院。	医療	女性	55	会社員(事務系)
246	子供が安心して遊べる室内スペースは確保してほしい。児童館でなく、公民館の一部屋でもいいと思う。	子育て	女性	38	パート・アルバイト
247	商業施設。飲食・サービス・アパレルなどの施設が絶対的に必要だと思う。便利な街になればなるほど、人が集まり、活気が戻る。	商業	女性	39	パート・アルバイト
248	障害児などを連れてきがるに専門家に相談できる所	福祉	女性	37	専業主婦(主夫)
249	ドックランを作った方がいい。他の地域からも来るのでいいと思う。	観光・レジャー	女性	33	自営業
250	ない	除外	女性	50	専業主婦(主夫)
251	子供達に安全な通学路や、市内の駅や病院などの施設を循環する市営バスなど。	交通	男性	48	その他
252	吊り橋やカルチャーパークのリニューアルは必要ないと思われる。少子高齢化社会に対する施設の拡充が今後必要	高齢・子育て	男性	48	会社員(技術系)
253	特になし	除外	男性	49	会社員(その他)
254	子どもを守り、育てる機能	子育て	男性	39	公務員
255	ない	除外	女性	38	専業主婦(主夫)
256	カルチャーパークに駐車場はもっと必要。整備して駐車場を潰してしまったのは間違いだったと思う。 結果夏休みなどのプールに行ける人が減ったと思う。	スポーツ	女性	30	専業主婦(主夫)
257	災害時等の避難場所にもなる大型公園の充実を望みます。鶴巻地区にはおおね公園があり、日常的に老若男女の市民が色々な目的で有意義に活用していますが、箱ものと言われる屋根のある体育館がありません。災害時にはほぼ機能しないのはもったいないと思いますので、是非、体育館の建設を希望します。	防災	女性	62	専業主婦(主夫)
258	思いつかない	除外	男性	25	会社員(その他)
259	市役所の分室または夜間にあいている市役所 働き方も多種多様となる中、時代に合わせた公共施設が欲しい	行政	男性	29	会社員(技術系)
260	そういう意味だと、少し夜遅くまであいているスポーツ施設もあるといい。よろしく願いいたします。	スポーツ	男性	29	会社員(技術系)
261	余計な建設をやめて、税を安くする	除外	女性	32	会社員(事務系)
262	その状態ならない	除外	男性	50	無職
263	特になし。	除外	男性	22	学生
264	ゴミ処理能力の向上とゴミ収集の有料化	環境	男性	66	専業主婦(主夫)

No.	回答	機能の分類	性別	年齢	職業
265	高齢者が住みやすい環境は必要。	高齢	女性	41	会員(その他)
266	イオンなど便利なスーパー。	高齢	女性	41	会員(その他)
267	コミュニティバスなどの小型バスで料金が安く乗れるバスは、高齢者も利用しやすいと思う。	交通	女性	41	会員(その他)
268	希望ですが、中央運動公園内に温水プールがあれば良いと思います	スポーツ	女性	51	パート・アルバイト
269	義務教育の間は医療費無料 中学を給食にする 中学からお金が沢山かかるのに、未就学児の保証ばかりで不公平	子育て	女性	42	パート・アルバイト
270	特になし	対象外	男性	41	会員(技術系)
271	特になし	対象外	男性	40	会員(その他)
272	特にない	対象外	女性	35	パート・アルバイト
273	特養老人ホーム！個人経営のホームは年金だけでは利用が難しい！子供世代に金銭面が頼れない！	高齢	女性	61	専業主婦(主夫)
274	特になし	対象外	女性	23	会員(その他)
275	なし	対象外	女性	38	専業主婦(主夫)
276	地震の機運も高まっているので、新しい施設にするのであれば、防災に特化した場所であってほしい。そのためにも普段からも人が集う機能が損なわれないよう、現在の老朽化して一部の人しかこない様相を一転させるようなクリーンな民間起業を入れるのも良いと思う。	防災	女性	38	専業主婦(主夫)
277	高齢者向け交通機関の整備	交通	男性	60	パート・アルバイト
278	子供を産みやすく育てやすい環境は継続、高齢者が住みやすく長生きしやすい環境整備を望みます。 働く世代の人たちは負担が大きい、そのぶん何かで還元されるような仕組みがあるとよいと思う。	高齢・子育て	女性	31	会員(その他)
279	みんなの憩いの場。カフェのような場所。	地域	女性	23	自業